滿洲日報
夕刊　六月十三日

關稅問題國際會議を日本に召集要望

世界的不況打開策を講ずる爲　大藏省内の意見有力

【東京十三日發】世界的不景氣を如何にして打開するかは今全世界の問題として各國共通の惱みとなつてゐる、銀問題の國際會議の如きも之が一端を物語るものであるが之も今では全く絶望に陷つてゐる時に當り大藏部内に關稅問題に關する國際會議を日本が列國に向つて召集すべしとの有力な意見擡頭し近く井上藏相、若槻首相に進言するといふ、即ちこの意見によれば現在の各國の關稅は際限なく障壁が高められ之がため各國共不況に輪に輪を掛ける結果となりこの儘に放置すれば軈ては武力の戰爭となる事は必然で之を未然に防ぐと共に何等か不況打開の曙光を見出さうといふのである

滿鐵正副總裁　御裁可を仰ぎ發表

【東京特電十三日發】政府は本日午前内田伯及び江口氏より新滿鐵正副總裁就任受諾の回答を受け直に御裁可を仰ぎ左の通り發表した

從二位勳一等伯爵　内田康哉
滿鐵會社總裁仰付けらる
勳六等　江口定條
同副總裁仰付けらる
仙石貢
依願同總裁被免
大平駒槌
依願同副總裁被免

けふの内田伯邸

評判よき新聞記事に　伯爵ニコ〳〵顏　子無き家庭も晴やか

【東京特電十三日發】新總裁内田康哉伯は今朝六時起床、雨後のからりと晴れた新緑の庭に面した廊下に出て薄茶をのみつゝ夫人と語らひ、新聞に目を通した、一般の論調は皆内田伯を適任者として褒めてゐるのであの大きな目を細くしながら微笑をもらしてゐた、同七時熊本から出て來た竹馬の友、高木第四郎氏が來訪、夫人に祝辭を述べて歸り、同七時十五分安達内相が來訪、階下應接間で三十分密談を遂げて歸つた、内相は未だ何ともいへぬと默々としてゐた

滿鐵の恒久性を考慮　川崎翰長語る

【東京特電十三日發】川崎書記官長は語る

内田伯を滿鐵總裁に推薦した理由は第一人選を公平にし滿鐵幹部に恒久性を與へるためである内田伯の如き人物閲歷共に第一流の政治家、外交家が多事多端の際、快く總裁の椅子を引受けて呉れたのは、それは國家を思ふ赤誠に基くものであつて、我々の大いに感謝すべきところである

安達内相けさ内田伯訪問

【東京十三日發】今朝七時十五分安達内相は西大久保の内田康哉伯を訪問し會見約三十分にして七時四十五分辭去した

總裁更迭の日の東京支社

【東京特電十二日發】滿鐵正副總裁決定の日、丸ビルの滿鐵支社においては非常に緊張し村上理事などは「飛んだところに上京した」と支社長室で大淵さんと額を鳩めて密談してゐた、支社長の手にはペンと電報用紙が忙しく動き電話のベルがしきりに鳴る、十河理事は仙石總裁邸に馳けつける、大平副總裁は朝からどこともなく外出、神鞭理事だけ泰然として重役室に納まつてゐた、大淵支社長は夜の九時になつても支社を去らず非常な勉強振りであつた

内地人口一日に二千五百人增加

昨年の自然增加九十一萬人

【東京十三日發】内閣統計局發表＝昭和五年十月乃至十二月の内地における出生死亡の差增は二十二萬四千七百十二人で前年同期に比し二萬六千九百七人の增加、同年一月乃至十二月累計による一年間の自然增加は九十一萬二千五百九十二人である、即ち一日二千五百人一分間に一、七四人の增加の割合でかつて最も多數なりし大正十五年昭和元年の自然增加數の九十四萬三千六百七十一人に次で多數である又この一年間の增加は大分縣一縣（昨年國勢調査による）の人口（九十四萬五千七百五十一人）に略等しい人口增加となる譯である、同年間自然增加を見るに出産の增加は極めて[illegible]以て死亡率の著るしき減少によるものである

出生　十月乃至十二月四十九萬七千六百五十三人一ケ年、累計二百八萬三千九百九十一人前年出生總數に比し七千五百七十三人の增加

死亡　十月乃至十二月の死亡は廿六萬二千九百四十一人一年間累計百十七萬千三百九十九人で前年に比し八萬九千五百廿七人の減少

陸の珍味（下）

河東碧梧桐

麻程度のものは、其の他にいくらもある。日本アルプスの野趣の珍味としての蕨、味噌汁の材料に過ぎぬが、若し用意よくば、晩酌の好下物となし得るであらう。其の外ショデ、ボーナ、山にんじん、山獨活の類、香氣溌剌として、それ〴〵に苦味、辛味、甘味を伴なふ。若しショデ、ボーナの類を都人士の食膳に上すことが出來る程、それが多量に、蕨のやうに、土筆のやうに刈り取らるゝなら、三ツ葉芹に限られた野菜料理に、一新期限を劃し得るのである。高原的なそれらの芳草の持つ、可なりに強烈な香氣と色彩は、手輕にすぐ飽きの來る附燒刄の味ではない。瀧津瀬の多い溪川に産する岩蕗、秋になると雪の下のやうな白花を無數につける。これも普通の野生の蕗と別な、滑らかで齒切れのよい、無味性の味を持つてゐる。東北の山に産する笹の子、それは熊笹の筍であるが、其のまゝの鹽蒸しも亦齒切のいゝ珍味の一つである。俳句の題にある五加木の芽、

俗にこんといふ木の芽、それよりも木の芽の王としては楤を上げるべきであらう。虎杖に似た豐な皮を被つた其の形に、既に寛容と旺盛と、包まれた精力の神秘がある。これを輕く湯がいて、胡桃和へ、又は胡麻味噌にする。たゞ三杯酢にしてもいゝ。眞に楤の芽の本然を味はうなら、多少の刺戟性の香味を加へた酢醤油に頼るべきであらうか。

其の外防風、野蒜、萱草、狗脊等昔から食用に供せられてゐるもの、或は各地方の特産、たとへば伊豫のテイレギ、熊本の水前寺海苔等數へ盡し難い。轉じて川魚類、湖介類に及ぶのであるが、それら調理の方法のみでなく、各地方別にそれ相應の研究が行き届いてゐる。所謂食通の多年傳承する品隲の標準に對して、新たな經驗を擴張にしての創説は、鮎は鮎、鱒は鱒、鯉は鯉、それらを一題目にして、一日二日の論議を必要とする。こゝには姑く觸れることを避けねばならぬ。

要するに陸の珍味は、一長一短、群象を超越するものを發見し難いのである。と言つてそれらが平々凡々言ふに足らぬのではない。我が風土、地味地質によつて、超等級の芳草淡魚を産するものとも見られる。陸の珍味を摘出し得ないのは、却て其の無盡藏な潤澤さを裏書きするとも言ひ得るのである（此項終）

滿鐵新首腦批評

内田伯の總裁はこの上無き適任

日支外交上に好影響　けふ來連の　河合波蘭公使談

さきの佛大使館附參事官よりポーランド公使に榮轉した河合博之氏は赴任の途家族同伴十三日入港うらる丸にて來連した、漆黑ゝ美髯に終始微笑を湛えサロンで氣持よく語る

どうも外交官生活は渡り鳥の樣なもので、年間の巴里生活を終つてやつと歸つて東京で四ケ月位ホッと一息ついたと思つたら又ポーランド行だ、歐洲生活は永いがまだ行つた事のない土地である、しかし幸ひポーランドは非常に日本に**好意を寄**せてゐる國であるから愉快に赴任する事が出來る自分の前任者は歐米局長になつた松島肇だつたと記憶する、大連にはヤマトホテルに三日許り滯在して旅大を視察の上十八日のマンチユリー發國際列車に間に合はすつもりだから十六日朝離連の豫定だ、支那は曾てグル〳〵廻つたことがあるがその際大連にも顏を出した、まだ築港もこんな派手やかなかつたし沙河口工場も完全に整つてはゐなかつた、何？滿鐵後任總裁は内田康哉伯だつて？それは意外だ、全然噂にも上つてゐなかつたぢやないか、閲歷といひ手腕といひまづ申分ないところだらう

日支關係の重大なる今日内田伯の來滿は我々の意を強うするに足る、木村理事も同じ外交畑から總裁が來るんだから腰をすゑて働けやう、たしか内田伯の大臣の際は木村君は亞細亞局の第一課長だつたと記憶してゐる、要するに滿蒙諸問題が外交的見地から解決される日が近づいたわけである【寫眞は河合氏と家族】

對露、支關係に好影響期待さる

貴族院方面の批評

【東京十三日發】滿鐵新正副總裁の決定につき貴族院方面では左の如く評してゐる

内田伯の起用は伯の閲歷から見て總裁の地位を著しく高めたもので所謂大物を引き出した事は見事な手際であるが總裁としての適否は伯が經濟的方面に無經驗なだけに全く未知數である、滿蒙政策遂行上に伯の外交手腕を期待するものもあるが伯の外交は既に定評があり對支事情に通ずるだけに遣り過ぎぬとも限るまい、然し伯の如き功成り名遂げた人が無經驗な一事業會社の總裁を引受けるに相當の意氣込みあつての事であらう、副總裁に江口定條氏を起用した事は伯の事業的無經驗を補足するに十分で先づ適任といはねばならぬ、氏は既に總裁にも擬せられた人で對支政策にも相當識見あり内田伯の下なればこそ副總裁を受けたであらうが果して今後甘く使ひこなして行けるかどうか懸念する向もある、然し全般としては今回の更迭は政黨色なき人選をなした事に見て滿鐵首腦部の位置を恒久的ならしめた如く見られ且つ對露支關係にも好影響を齎らすであらう

超黨化、恒久性を考慮した跡歷然

林奉天總領事の批評

内田伯の滿鐵總裁決定につき林奉天總領事は語る

總理大臣級の内田伯を滿鐵總裁に起用したことは現内閣としては大成功である、内田伯は元來派手やかな人ではない、然し仕事の人である、殊に支那問題に對し多年研究した人で適當な人である、現外務大臣を除いたら小村壽太郎氏にでもなぞらふべき人で、眞に申分のない總裁である、伯は元來政黨の色彩の人でないことがこの點から見て伯の起用は滿鐵總裁の超黨化、恒久化とも考へられ、誠に喜ばしい、また副總裁の江口氏は三菱系の人で仙石總裁の以前に總裁に擬せられた人である、この人は純實業家で大滿鐵會社の女房役としては最適任者であらう、理事などの異動は殆んど無いと思ふが兎に角この正副總裁を迎へることは滿鐵のため滿洲のために喜ばしいことである【奉天電話】

内田總裁の就任歡迎

汪駐日公使談

【東京特電十三日發】駐日支那公使汪榮寶氏は語る

内田伯は[illegible]國帝國時代に暫く在勤して居られたので中國の事情をよく知つて居られる、今回滿鐵總裁として就任される事は私個人としても勿論歡迎しますし又本國政府として仙石さんに對したと同樣の氣持で特に區別をつけて好き嫌ひをいふ事はないと思つてゐます

歳入減補塡のため　一億二千萬圓節約

主計局の整理案内容

【東京十三日發】六千萬圓の本年度歳入缺陷補塡のための實行豫算編成と明年度豫算編成とを目前に控へて大藏省主計局では過般來整理具體案の作成を急いでゐたが、大體の成案を得たので各省と膝詰談判によつて否應なしに説得する事となり十二日先づ農林省との聯合協議會を行つたが、今回の成案の眼目は從來の如き漫然たる天引主義によらず各費目を一ツ一つにほぐしてその必要を認めざるものは之を削除し物價低落により經費を切落すべきものはこれを削減する事など極めて合理的方法を執る方針であるといふ而して昨年九月の本年度豫算編成期における物價と現在とは一割三分の下落を示して居るので整理案の基準は總てこの物價下落に置き左の方法の下に總額一億二千萬圓見當の節約を圖る方針である

整理基準案

一、總額一億二千萬圓

（イ）物件費、營繕費、事務費、事業費、補助費、奬勵費、助成金等に含まれる節約可能な物件費は約四億圓であるからこれより物價下落を理由として一割三分即ち五千二百萬圓の節減を行ふ事

（ロ）人件費、補給費、年功加俸、在勤加俸の減額による捻出額約七百萬圓の外に賞與金約四千萬圓より八百萬圓見當を削減する事

（ハ）調査會費、機密費等よりも出來る限りの節約を行ふ事

（ニ）繼續費一億四千萬圓の三割繰延により約四千二百萬圓を捻出する事

（ホ）凡ゆる費目より物件費以外の節約額一千萬圓を捻出する事

而して右節約案は明年度豫算編成の基礎となるものなることは勿論であるが本年度歳入缺陷補塡のため一日も早く具體案を作成せざれば各省とも節約の餘地が尠くなるので本年度實行豫算編成を急ぐ必要上大藏省は焦つてゐる

農林關係の財政整理

【東京十三日發】財政整理準備委員會にて審議中なりし明年度以降財政整理案はこの程大體成案を得たので大藏省は整理具體案作成に先だつて各省とそれ〴〵聯合協議會を開き整理削減費目につき協議する事となり農林省との第一回聯合協議會は十二日午後二時から藏相官邸に開會井上藏相、田、河田氏以下大藏首腦部、田淵會計課長出席大藏、耕地以下農林省關係課長出席、農林省の繼續費、補助費、助成金奬勵金整理の目的に從ひこれ等設置の理由過去の實績現狀並に將來に關し農林實務當局の説明を聞き午後五時半散會、第二回は十五日に開會するが農林省の補助費助成金奬勵金は昭和六年度分二千百四十五萬二千圓である

駐米公使伍氏も廣東政府に參加

米支法權交渉は不利

【上海十二日發】駐米支那公使伍朝樞氏が辭職して廣東派に參加することに決したので南京政府の對米法權交渉は一頓挫を來し伍朝樞氏の廣東派參加はアメリカ側に多大の影響を與へた模樣であるから今後の法權交渉では南京政府は著るしく不利な立場に陷るものと見られてゐる

張學良氏は今月中退院

張學銘氏語る

【北平十二日發】張學良氏發病以來看護に努めた弟張學銘氏は病狀峠を越したので赴津した、氏は停車場で語る

副司令は日を逐ふて良好となり最早や絶對に懸念すべきものなく靜養に入つてゐる、本月中には退院出來る見込みである

なほ蔣介石氏代表張群氏は第五次執監全體會議に出席のため同時に離平した

滿鐵地方事業費　明年も極力緊縮

査定委員一行歸社

滿鐵地方事務所關係七年度事業費豫算査定のため岡田地方部庶務課長始め地方部より九名、工事部より三名、計畫部より一名の査定委員一行は去月二十一日大連發、沿線に向つたが全線の査定を終り十二日午後八時着列車で歸社した、岡田庶務課長は語る

七年度事業費豫算について特色ともいふべきは各地方事務所で會社の財政狀態を充分知悉して出來得る限りの緊縮方針を採つてゐることで計上されてゐるものは緊急止むを得ざるもの許りだ、從つて斬新な新規事業は殆どない、この點は會社の方針が徹底したといひ得る、馬車道路その他經濟的發展に重要な關係ある方面には特に力を注いでゐるがそれも從來のものを改修する程度で新設はない、吾々査定委員一行は特に長距離の場合は消防隊の自動車を利用したりしたが多くの場合は實地に歩いて見たので非常に得る所多かつた

調査の上で善處

萬寶山の事情はよく知らぬ　塚本長官長春で語る

北滿視察中であつた塚本關東長官は十二日十四時五十四分着列車で來長官民多數の出迎へを受け驛貴賓室に小憩後長春神社に參拜、領事館、旅團司令部、警察署、取引所その他を訪問ヤマトホテルに入つたが、寛城子驛まで出迎へた記者に語る

洮昂、東支等何れも閑漠たるもので感想も全く茫漠たるものだ實習づくめで腹が痛めたのには閉口してゐる、財界の不況は何れの地にも打撃を與へチ、ハルの如きは銀の暴落に官帖値下りのため朝五分のものでも夕方は一割の損をみるなどの事實があるので隨分困つてゐるやうだ、しかし所詮金融機關の組織も出來ず全く氣の毒に感じた、萬寶山問題についてはこの四五日新聞を見ないのでどうなつてゐるかさつぱり判らない、長春についてゆつくり報告を受けて後相談することにしやう、支那側の誰と交渉してゐるのか市政籌備處長は交渉の權限をもつてゐるのか、寶山問題に對する僕の意見などは事情を聽いた上でなければどうするといふ方針もありやうがないぢやないか、諸君の萬寶山に對する意見は充分參考としてきいて置くことゝする

と頗る上機嫌であつた、經過報告をきいた長官は果して如何なる内命を下すか頗る興味をもつてみられてゐる、長官は午後七時半からホテルで開かれる長春官民合同歡迎會に出席した【長春電話】

滿鐵社員會宣言文

協力一致を強調

滿鐵社員會では刻下の經濟的難局に際して會社が最も困難なる經營難に陷り之が打開のためには全社員が一致の協同精神を以て結束すべしとなし十五日の「協和」誌所載として社員會の覺悟並に會社幹部に對する要望を述べた宣言文を各會員に配ると

教育研究會の第一部總會

第三十一回關東州教育研究會第一部總會は十三日午前九時三十分から[illegible]堂にて開會、出席者は州内各小學校長並に[illegible]校の先生達五百名で[illegible]長の開會の辭に次いで入會員の紹介あり協議に入り

▲第一問　本會々則改正案（金州小學校提出）は原案可決

▲第二問　州内小學校兒童用の學習帳を制定しては如何（南山麓小學校提出）はよりよき學習帳を得るためと大量購入によつて兒童學費の輕減を圖るためであるが反對意見もあり甲論乙駁の後ち委員附託に決し

講話に移り松原聖德小學校長は「各校における郷土教育の留意點およびその取扱ひ實際如何」と題し話題を提供し

滿洲生れの兒童が就學兒童の大部分を占むるに到つた今日滿洲を郷土とし墳墓の地とすべき第二の國民を教育するには先づ郷土教育の徹底を期せねばならない、而して州内教育は内地教育の延長から脱して當地獨自の教育を創設し徹底せしめなければならない

と説明、各自意見を交換し次年度主事を互選し正午一先づ休憩となつたが午後は一時から三時まで各教室で分科會を開き三時五分閉會引き續き講堂にて懇親會を催した

交通委員會に中央の割込み策

候補は勞勉、李鳳兩氏

【南京特電十二日發】南京政府の鐵道部及交通部は以前から東北交通委員會に割込みを策し過般張學良、高紀毅氏等入京當時これが折衝をなした事實あり張、高兩氏も強てこれを拒否せず、適當な中央系人物を加へせしむる意向を漏らしたので中央側はこの機會に割込みを實現せしむべく交渉を重ねつゝある模樣であるが、中央側が推薦せる委員候補者は鐵道部の代表として現北寧鐵路局副局長勞勉、交通部代表として現交通銀行奉天支店支配人李鳳の兩氏であつて兩氏とも中央系であると共に東北側との關係も密接であるから兩氏の委員任命は實現の可能性が多いと觀られてゐる、尚廣東派に投じた鐵道部長孫科氏の後任には葉恭綽、張群、孔祥熙、高紀毅五氏が候補者に擧げられてゐるが高紀毅氏は絶く辭退するものと觀られてゐる

石友三氏　地盤要求

【北平十二日發】石友三氏は廣東の獨立、共産軍の跳梁、張學良氏の病臥等で中央側が弱り切つてゐるのに乘じ蔣介石氏代表として濟南にある鄧力子氏に特使を派し

一、毎月軍費二十萬元を與へよ
一、部下十萬の地盤として甘肅又は山東を與へよ
一、黄河以北に進出せる中央軍を即時撤退せよ

との三要求を申出でた

旅順聯隊隨時檢閲

多門第二師團長は十九日在旅歩兵第三十聯隊の隨時檢閲のため小野參謀長その他幕僚同伴自動車にて來旅旅順ホテルに二泊の上二十一日午後八時二十分出發の筈

銀國際會議

主催拒絶通告

【ワシントン十二日發】出淵大使は訓電に基き十二日アメリカ國務長官スチムソン氏に對し日本政府は銀國際會議主催を斷念したと通告した尚消息通の言によれば英米佛とも主催の意思なく結局當分實現困難と見る外あるまいと

辭令

【東京十三日發】
關東廳中學校教諭　平野壽作
依願免本官

滿鐵辭令【十三日社報發表】

大石橋驛長　山川九思
埠頭事務所勤務を命ず
長春驛構内主任　日野熊次郎
大石橋驛長を命ず
熊岳驛長　山口義人
長春驛構内主任を命ず
營城子驛長　築貫一
熊岳城驛長を命ず
大連列車區助役　古川敬造
營城子驛長を命ず

人事

▲小川逸郎氏（滿鐵販賣部次長）兩三日來風邪氣味にて引籠中のところ十三日午後より出社
▲河合博之氏（ポーランド公使）十三日入港うらる丸にて來連
▲桐ケ谷洗鱗氏（日本畫家）同上
▲三宅大輔氏（ベースボール社主筆）同上
▲中村泰藏氏（日本海上保險取締役）同上
▲佃忠三郎氏（神戸海運新聞社長）同上
▲中村孝次郎氏（門司稅關監視部長）同上
▲曉馬敏氏（僧侶）同上
▲パブロバ舞踊團一行　同上
▲瀧江友之助氏（福新取締役）同上
▲太田久作氏（滿鐵運轉課長）同上歸連

壺茶

◇…「かれの使ひ道がなくて困つてるんですが何か旨い方法はないもんですかなア」と滿洲重要物産組合長照井長次郎氏は賑かに大笑する、世は擧げて不景氣だといふのにこは又豪勢な話だがその實、滿蒙から同組合に對して産業開發のために提供しやうといふのがザツと六千圓内外らしい。

◇…「實際六千圓程度では何も出來ませんからね、それよりも大連の油房を更生せしむるためには何といつても二千萬噸の家畜飼料を消費する歐洲市場に豆粕の販路を開拓すべきですね、現在の状態では需要は東洋に限定されてゐるし、それかといつて食料化もおいそれとは行きません」

◇…「だから[illegible]される豆粕の[illegible]しむることが肝[illegible]て歐洲と當地と[illegible]對しては滿鐵あ[illegible]策を執つて然る[illegible]なさそうですね[illegible]

◇…「豆粕の飼料[illegible]努力を拂ひつゝ[illegible]洲市場の飼料消[illegible]を向けてゐるら[illegible]

蛇角

おごろおごろと轟く雷の後に、之れは又やわらかいゴム總裁、然し柔克く剛を制す。

◇汪公使「内田伯の滿鐵總裁は本國政府も大いに歡迎します」歡迎よりはその實を願ひます。

◇内田伯が龍峯で、安廣前總裁が龍峯で、小幡大使が又龍峯と號す三人とも支那出身だから面白い、支那で龍の山でも見たのだらう。

◇奉天軍百ケ列車で大いに動く、支那全土がまた動いて來た、動かぬ樣になるのはいつか。

◇毒を以て毒を制する昔からの戰術で共匪討伐を行ふ、奉天征伐には女と金、廣東征伐には？

◇ファン諸子の紳士的な聲援と、選手各位のスポーツマンシップの裡に實滿戰の軍配は何く、どちらが勝つか、どちらにも勝たせたい。

滿洲球界發展に資す　本社の二大計畫

來る十八日から五日間野球展　同夜は講演會開催

實滿定期戰に際し本社にては滿洲球界の發展に貢獻するため多大の犠牲を拂ひ大連實業團並に滿洲倶樂部後援の下に來る六月十八日から二十二日の五日間本社新裝の三階講堂に於て野球展覽會を開催すること〻なつた、同展覽會の出品物は日本に初めて野球が紹介された明治初年當時から現在に至るまでの一切の記錄、六大學現役選手の國別地圖並に野球に關する寫眞、都市對抗、大每大朝兩社の中等學校野球大會の一切の記錄と同時に滿洲の野球史、大連實業大連滿倶奉天撫順長春安東各滿倶選手の國別地圖その他滿洲の野球史を飾る各倶樂部所有の優勝旗優勝盃、各選手出品の記念品等を展覽する、また三宅大輔氏高須一雄氏の來連を機として本社では中澤不二雄滿倶監督、岩瀬五郎實業主將、安藤忍、高橋誠實業選手並に滿倶辻田捨三主將、濱崎眞二、山下實、野田健吉、永澤武夫氏等の出席を乞ひ十八日午後七時から一大野球講演會を本社講堂に於て開催する

俄然關東廳に揚る　加俸減阻止の聲

長官の「愼重善處」は期待薄とし　雇員は怠業の形勢

過般來加俸減の聲におびえつ〻も塚本長官の内訓を唯一の便りにして沈默を守つてゐた關東廳の職員一同は今般高等官二割判任官以下三割の低率に在勤加俸を引下ぐるといふ大藏省の加俸

減額案

が發表されるに及び兩三日來非常な動搖を來してゐたが、俄然十三日正午にいたり土木課、殖産課、財務課など大世帶の課を筆頭に全員退廳の催鈴が鳴つても退廳せず各課ではそれぞれ課長室に全員集合し善後策を協議を開いて反對の決議をなすと共に右の由を直に課長に陳情して長官より更に強硬に政府當局に對し要求するやう交渉するところあり、一方右陳情を受けたる

各課長

は直に財務部應接室に緊急課長會議を開き善後協議を遂げた、しかして右はさきの長官のいはゆる「愼重善處」も最近の政府筋の情勢では頗る期待薄であり且は各課長乃至局長などの課員に對する態度甚だ同情薄く、かくては滿洲在勤官吏の唯一の特典たる加俸も今後は如何なる減率を見るやもはかられず實に植民地官吏の生活上由々しき問題であるとなしこの際飽くまで關東廳當局を鞭撻すると共に政府の

反省を

促し趣旨を貫徹せんとするにあるが、就中最薄給の官吏たる土木、稅務現業員その他の雇員一同は右の如き判任以上高給者の陳情運動などでは飽き足らずとなし各土木出張所、民政署稅務吏など一齊に起ちて加俸減額阻止の實際運動を行ふといふが、この雇員の實際運動とは即ち一種の怠業で稅務吏の怠業は直接に租稅收入その他に直に重大影響を及ぼすものでさなきだに減收に赤字に惱める關東廳財政の前途頗る憂慮されてゐる

大連神社月次祭

來る十五日の大連神社の月次祭には氏子代表當番町東伏見臺町區の氏子役員參列の上午前十時から月次祭典を執行する

兩佐藤敗る

ベリーとオスチンに　日英デ盃戰單試合

【イーストボーン十二日發】デ盃庭球歐洲ゾーン準決勝第一日は本日當地に於て擧行され兩佐藤は左のスコアで共に惜敗した

ベリー(英)　六―一、四―六、七―九、七―五　佐藤(次)

オースチン(英)　〇―六、六―二、六―四、六―一　佐藤(俵)

複試合組合せ

【イーストボーン十二日發】日英庭球第二日組合せ左の如し

佐藤(次)、川地對ベリー、ヒユーズ

廣告文削除で　圓滿に解決

大連醫師會の紛糾

既報、市内三河町近藤醫師が新聞紙に掲載した痔疾藥物治療講習會員を醫師中より募る廣告は俄然大連醫師會の物議を醸し、これが善後策に就き醫師會では十二日午後八時三十分から市内監部通事務所に於て臨時總會を開催協議の結果近藤氏の態度を遺憾となし同氏懲罰の件を附議、討論のうへ一先づ近藤氏を招致し、直接右の廣告又削除を要求するが穩當であるといふに意見一致し、直に近藤醫師を招致この旨を通じたところ近藤氏も會の意志を諒とし削除する旨を誓つて懲罰の件を撤回した、さらに近藤氏が某紙に談話をなした記事中、内田醫師を侮辱するがごとき言辭あつたことに對しては近藤氏から内田氏に陳謝の意を表し十三日午前零時すぎ散會、紛糾せる問題も圓滿に解決した

廣告の取締方を當局に請願

大連醫師會では近來醫師の廣告中治療の内容を知らしめる如き文意或ひは醫師の經歷を暗に誇示するが如きものあり、これは醫師法第七條に觸れる違反行爲たるのみならず醫師道德からも忌むべき手段であるとなし、これ等いかゞはしき廣告の嚴重取締方を近く關東長官に請願するに決定した

ガマロを掻拂ふ　連鎖街夜店で

市内對馬町六二平松アヤ子さん(三七)が十二日午後十一時ごろ榮町連鎖街大阪屋號書店前にて花賣行商人より花を買はんと懷中より五圓餘在中の蟇口を出して支拂はんとした際、花賣りの傍に居た二十歲前後の支那人が矢庭にその蟇口を掻浚ひ中央公園方面に逃走姿を晦ましたので小崗子署では目下犯人嚴探中

異論續出し　トラストならず

映畫界は自由競爭へ

活動常設館トラスト問題は四經營者の結束亂れ、遂に計畫崩壞の運命に遭遇した即ち最初大日活長氏の發案により寶館吉田、南座南、常盤座小泉の三氏共に前市長杉野耕三郎氏を引き入れて着々計畫を進め近く

創立總會

を開會するまで具體化してゐたが、突如常盤座所有者の連鎖商店事務所から一應の相談なく決定するは穩かでないといふ異論が出で常盤座をトラストに貸すには敷金の五萬圓を入れよといふトラストとしては到底不可能な難問題が持ち込まれ、經營者小泉氏は遂にトラストより手を引くの餘儀なきに至り、更に南座々主南氏も松竹映畫上映權が長期契約出來るなれば應じてもよいといふ條件を持ち出したところ、容れられそうにないため難色ある折柄、突如小泉氏脫退で長氏側から提案された

三館協定

即ち常盤座を除く寶館、南座、大日活の三館合流問題に對し南氏は反對的意志を明示するに至り、目下のところ殆んど脫退の形となつてゐるこれがためトラスト計畫はもろくも崩壞の運命に立ち至り、長大日活館主は最後の手段として何れかの日本映畫上映權を獲得すべく一兩日中内地へ急行することゝなつた、なほ帝國館權利買收の手打金二千圓は(四經營者五百圓宛負擔)全く棒に振つたことになる譯である

けふの早慶戰　必ず面白い

滿洲の早慶戰を批評する　三宅大輔氏が來連

本社主催の大連實業團對大連滿洲倶樂部定期戰をより一層權威あらしめ且審判に對する疑義及び批評を求むるため本社並に實滿後援會及び實滿兩軍で招聘した三宅大輔氏は十三日入港の定期船うらる丸で本社竹内主催及び本社員に迎へられ着連直に遼東ホテルに投じたが同氏は語る

權威ある御社の實滿戰に御招聘下すつたことを光榮に思つて居ります、東京でもまだ友人知人から色々と實滿戰の歷史等をうかがつて參りましたが、私のやうな未熟なものが批評なんか出來ますかどうか、今年から五回戰になすつたさうで甚だ良い試みと思ひます、偶然とでも云ひませうか早慶戰のある日に滿洲の早慶戰とも云ふべき實滿戰があるとは早慶戰も素晴らしい人氣でせう、早大の方が慶大に比しスタートが惡かつたですがあれ以上早大は落ちて居ないと思ひますし反對に慶大の方はスタート當時よりも或は惡くなつて居るかも知れないことを想像して見ますと興味が一層深まります、必ず面白い試合となるでせう【寫眞はうらる丸甲板の三宅氏】

激浪の中を難航

蓄電池を節約し苦心　デイネンハウワー少佐(ノ一十號)

【十一日發電】海はけふも相變らず荒れ風は依然として強いのでなか〳〵の難航だ、この激浪のうちにあつて蓄電池をなるべく節約しながら進むといふのだから骨が折れること夥だしい、浪が荒いのと右舷のエンヂンの故障で速力は七ノットしか出ない、十一日午後六時三十分(グリニッチ時間)の本艦の位置は北緯四十三と十、西經四十一と八、既にボストンを距ること千四百四十哩の洋上にある【本社版權所有】

早大	0	0	0	0	0							
回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	計
慶大	2	0	0	0	0							

本溪湖石灰山を封鎖

日本側の交渉に應ぜず

本溪湖の石灰山事件はその後奉天總領事館に於て日支間に協商繼續中の所十三日午前中俄然巡警七名石灰山に來り作業を封鎖せんとしたので日本警察署より渡邊警部が縣長公處に赴き知事に會見を求めたるも應ぜずために今後或は急迫の形勢に至るやも圖り難い模樣である【本溪湖電話】

各國選手を招いて　國際運動場開さ

國旗を掲揚し華やかな入場式　競技は蹴球戰から

滿洲陸上競技史に一エポックを劃する奉天國際運動場開場記念運動會は十三日午前十時より奉天國際運動場に於て擧行された、これに先立ち午前九時より大森地方部長、小倉地方事務所長、久保田醫大教授その他多數關係者參集の上山内神官による修祓式を嚴かに執行、大森地方部長は滿鐵總裁の式辭を代讀し續いて張學良氏衞兵の軍樂隊の奏する君ケ代とともに國旗掲揚式を行ひ續いて鈴木奉天工事事務所長の工事報告後當日出場の全奉天、全長春、安東滿倶、全撫順の四野球チーム、奉天醫大の四蹴球の四チーム、全大連、東北、學生隊、大連、醫大同澤、奉天高女の六排球チーム約四百名の入場式を行ひ中央役員席前に整列すれば大森會長開會を宣し沖奉天野球チーム主將選手一同を代表して宣誓を行ひ午前十時愈々歷史的競技の幕は切つて落された

▲東北大學　五―三　奉天醫大

東北5(1―1、4―2)3醫大

前半一對一の接戰を續けたが後半東北終始優勢を持續し醫大奮戰好守したが遂に五對三で敗る

▲馮庸大學　二―〇　全大連

馮庸2(2―0、0―0)0全大連

馮庸最初より優勢、全大連好防大いに努めたがしば〳〵チヤンスを逸し加ふるに實力の差あり遂に二對〇で敗る【奉天電話】

金庫に近づき構造を見る

麻醉劑まで用意した　名越の計畫的な犯行

正隆銀行爲替係員直殺を企てた犯人名越正吉の取調は十三日引續き大連警察署刑事部で千葉司法主任の手で行はれたが精神異狀者と世間で傳へてゐる名越としては驚くべき計畫的な新事實が暴露した、即ち彼の借財はザツと

五萬圓

内外で差し迫つて金の必要なきに拘らず妾の兒島ツヤに總營させすカフエー千座も最近經營不振でツヤからは盛んに資金の提供を迫られるし榮華の夢醒めやらずして十四、五萬圓手に入れ内地へ引揚げ安樂な生活をしようと企み本月六日正隆を襲ふべく犯意を起した、七日共犯の從弟貴に金庫破りの器具を瀬連町横田金物店で購入させ實行に着手した、然八日いよ〳〵正隆を襲ふべく正午ごろ廠用にかこつけて金庫のそば近くゆき構造を

實檢し

さらに第一號倉庫の構造に就いて詳しく質すべく同滿鐵に赴き友人の小出一氏に面會したが、氣がさして云ひ出し得ず歸宅し翌九日夜遂に犯行を

波蘭政府招聘で　桐谷洗鱗畫伯の渡歐

新任ポーランド公使と共に十三日うらる丸で宗教畫界の權威桐谷洗鱗畫伯が來連した、同畫伯は特にポーランド政府よりの招聘を受け東洋藝術の粹をポーランドに紹介せんとするものでサロンで語る恰度新任河合公使が行かれるので御同行願つた、大連には一昨年蘭領の印度バリー島に千五百年以前の古い宗教藝術調査に行つた歸り途立寄つた、今度はポーランド政府の招聘によつてあちらの宗教藝術の調査を目的とし且つ約五十點程表裝の整つたものを持つて行くからそれの展覽會を開きその間講演會なども行はうと思つてゐる、滯在は三四ケ月となる見込で、あちらでは無論製作するつもりだ歸國したらポーランドの農民藝術手工藝を日本に紹介して藝術の上で日波親善を圖る考だ【寫眞は桐ケ谷畫伯】

實滿定期野球戰

第二回戰

十四日午後二時開始　實業球場に於て擧行

審判者　高須一雄、熊谷玄兩氏

主催　滿洲日報社

僞造名刺の紹介文を振廻す

出版物の豫約募集をし　自發的退去を命ぜらる

駒井は先月末來連し、河原彌三郎と僞稱して花屋ホテルに止宿し民政黨代議士、大連五品理事長櫻内辰郎氏の名刺を僞造、これに紹介文を記入して恰も民政黨に密接な關係あり、且つ櫻内代議士と昵懇な間柄の如く見せかけて諸名士及び銀、會社等を訪問し、紹介文付きの名刺を振り廻して「男爵若槻禮次郎」と題する豫約出版物の豫約募集をなし、金品を受領してゐたことが發覺、大連署高等係において嚴重戒告の上、再び滿洲へは踏みせぬことを條件として、自發的形式による退去を命ぜられたものである

大連署高等係で豫て身分、行動等を內偵中であつた東京社豐多摩郡野方町新井、當時市内信濃町花屋ホテル止宿駒井喜太郎(五〇)に對し自發的に關東州內を退去し、東京警視廳へ出頭すべしと命じて、十二日午後九時卅分發列車で朝鮮經由送還し、同人の行動に關し、各警察高等係へ命じて嚴重な監視を行はせるべく通牒を發した

遂行するに至つたものであるが、名越は用意周到にも萬一行員がストリキニーネで絕命しない場合は眠り藥を嗅がすべく或る麻醉劑を所持してをり犯行の證據湮滅に對しても普通人の考へ及ばぬ計畫的な用意をめぐらしてゐた、なほ同

ブラッセは秋から

今度はお流れ

既報大連競馬倶樂部では今期の臨時競馬より内地各公認競馬場にて實施されてゐるブラッセ(複勝式勝馬投票券發賣)を採用すべく春季競馬終了以來これが馬券發賣所を新たに設備する等着々と準備を進めると共に倶樂部幹部は當局に對し許可方を嘆願中であつたが關東廳では起案中の施行細則が開始期日までに間に合はぬため遂にブラッセは今臨時競馬はお流れとなり八月の秋季競馬より實施される筈であると

署では午後一時から名越の妻女、實弟及び妾兒島ツヤ等を召喚證人訊問を行ふ筈である

北里博士けさ逝去

腦溢血で

【東京十三日發】北里博士は今朝四時半突然腦溢血を起し六時遂に逝去した、畏き邊では博士が年の功勞を錄せられ左の如く叙勲の御沙汰ある筈

正二位勳一等男爵　北里柴三郎

敍勳一等授瑞寶章

爭議嘆願に園公邸へ

勞働者乘込む

【東京十三日發】十二日午後零時四十分頃神出臨驛海藏西園寺公爵邸に二人の勞働者風の男が圓タクで乘りつけ玄關先から闖入せんとしたので警戒中の西神出署員が取押へ取調べた處、このものは大阪市此花區春日出町中一丁目二四河吉(二)同市西區梅通三ノ六大阪金屬野勞方大阪金屬勞働組合員平野、(?)峰朝茂(二七)さて懷中に白鞘の短刀を所持し居り兩人は豫て大阪住友製鋼所の爭議の陳情書を所持し住友製鋼所の爭議解決に關し同所に關係深き西園寺公に對し種々の方法を以て嘆願して居たが、聞き屆けられないので十一日夜大阪を立ち十二日午前八時着今日西園寺公邸へ乘込んだものと判明した

湯崗子郵便局

關東廳遞信局では本年泥湯の完成した湯崗子溫泉の浴客激增を見越し同地に於ける現在の如き簡易な通信事務では多數浴客および地方民の不便を豫想し來る二十一日から九月二十日までの夏季期間同地に鞍山郵便局の出張所を臨時に設置し郵便爲替貯金事務は勿論電信および電話通信事務をも取扱ふ事になつた

なほ同局本年の通信施設計畫としては星ケ浦の現狀に鑑み同地にも郵便局を新設しまた三十里堡にも常置局店局の臨時出張所を設ける計畫の下に目下電話加入希望者を取纏め中である

ベンゾリン公判日延期

白川友一氏一味のベンゾリン密輸事件の公判は來る二十六日開廷の豫定であつたが、辯護士側の都合で一日延期となり二十七日開廷に變更した

卓堂送別會

浩然、嬰鳴同吟社では今回大連を引揚げ歸國する立川卓堂翁の送別詩會を來る十五日午後六時より遼東ホテル六階大白酒で開催、また十六日午後五時から吉野町鳴門で川柳各團體主催で送別川柳會を催すと

海事座談會

大連海務協會では十四日午後七時より本會において「關東州沿岸において急設を要する航路標識の順位につき」と題して第六回海事座談會を催する由

野田家不幸

元本社記者野田透氏トイ子夫人は十二日午後七時三十分死去、享年二十九歲、十三日午後三時半西本願寺に於て葬儀を營んだ

天氣豫報　十四日

北西の風　晴

滿潮　午前九時二十分　午後九時二十分

干潮　午前二時十五分　午後三時三十分

けふの小洋相場(正午)

金百円で小洋二七二圓七〇錢

暗流阿修羅館（93）

生田蝶介　挿畫　藤井耕達

蚊遣香（二）

丸八多平の店で賣出した容器つきの蚊遣香は大變な評判だつた。

番頭清藏が長崎から學んで來た本草學、和蘭の薬から製造した香を一と撮焚くと、部屋の中に飛んでゐた蚊がぼろぼろと面白いやうに落ちる。蚊帳も要らねば紙帳も要らぬ、當時江戸にあつてはまことに大發明である。これが前々から見込を立て、丸八では藥草園を設けての大仕掛であるから見る〳〵丸八の店には三戸前の倉が更に立並んで、和泉橋海岸の平川町にもまた建てるといふ噂であつた。

呉服店では急に蚊帳が賣れなくなつたので蚊帳の織元の主人達が問屋に泊り込んで何かこれに代るものをと額を集めたりした。

が、なる程、粉なのだけでは焚いてゐる間だけはい丶が、夜半なぞ、だれか一人起きてついてゐて無くなると焚き、無くなると焚かなければならぬことになるので

やはり蚊帳の方がい丶といふことになつた。

丁度、ラヂオが出來たころは、これはい丶、蓄音器などはまごろつこしくて手數がかゝつていけぬ。といふので猫も杓子も、これまであつた蓄音器を古道具屋に賣り拂つてしまつてラヂオにしてしまつた。

跡をひそめてしまふかと思はれたが、段々味はつて見ると、なる程ラヂオもい丶にはい丶が、プログラムがきまつてゐて、自分で好きなものを勝手な時間にきくわけに行かぬ。仕事のいそがしい時なぞ子供は一向平氣でスヰッチを入れてガーガーとオーケストラなぞをかけられると、書齋にゐてじつとして折角まとめた趣がぶつこはれてしまふ。やつぱりすきな時間にすきなものをかけて味はふ事は蓄音器に限るといふことが、このラヂオの出現によつて一層證明された。

それと同じ樣なもので

はじめ大恐慌をきたした程、それほど、蚊帳の需要はとまらなかつた。蚊帳の織元たちはほつとした。清藏はもうその時すでに第二の案を立て丶ゐた。側についてゐなくても丸一晩中焚かないで、どんなに長い安眠でも出來るやうにと、この香を線香に作りあげたのであつた。その形を十二種類、その中に普通の線香形のものは、蠟燭型のものもあつた。渦巻型のものも、この清藏の發明にかゝるものであつた。

いよ〳〵この十二種がぱつと賣出された時には流石の蚊帳の織元も參つてしまつた。

上下を通じてゞある。これほど重寶がられたものはなかつた。

本所、深川、その他堀に沿つた家々、樹立の多い家々はこれが出來てからのび〳〵と夕涼みが出來てこの上なく喜んだ。

大奥でも、もてはやされた。

しかし線香の場合はこれに添ふ器がどうしても必要であつた。

清藏に依賴されて橋場の幸兵衛が、これも六七種類の型を作りあげた。

これがまた幸兵衛好みとあつてひどく風流がられ、向島から寺島深川あたりに住んでゐる俳人たちが好んで俳材にして、ひどく宣傳されたものだ。

幸兵衛は一時瓦をやめて、これにかゝりきりになつたが、間に合ふべくもなかつたので、今戸、千住の瓦屋三十二軒が手分けをしてこれにかゝり切つた。これが半年ほどつゞいてやつと間に合ふやうになつた。

その間瓦が不足したので、十軒だけ殘してあとは瓦を燒くやうになつた。

或日、清藏が幸兵衛を訪れて、

「こんどは一層氣をつけてやつて下さい」

「何時も氣をつけてやつてゐるのですが、どなたのですか」

廣告映畫會　大盛況　昨夜本社講堂

本社で蒐集した廣告映畫の入選作品發表會は既報の如く十二日夜八時から本社三階講堂に於て開催、一般に廣く無料公開されたので非常な人氣を呼び滿洲最初の廣告映畫及びパテーベビーの優秀作品を上映し大喝采を博したが、當夜は今回新に輸入されたY型スーパープロゼクターを使用し素晴らしい映寫效果をあげ大好評を博した

噂話

◇…映畫館トラストは各館主の話が皆違つてゐる上に、話す相手によつてまた變るのだから眉に唾では追ッつかない。

◇…今年から野球座布團に內地のやうにマッチがつく、映畫館でもマッチをつけたらよからうと言へば「元來禁煙して頂きたいのです」と涼しい顏。

◇…野球、サーカス、パヴロバ―そのうちに相撲、海水浴と映畫館なみに申し上げると巨彈連發、見よこの壯觀ではある。

◇…プレイガイドからプロだけでなく宣傳ビラまでお得意さんに送つてくれるやうになり漸く目的に添つて來た。

松竹蒲田へ舟木貞一、堀内敬三兩氏の紹介で小百合栗子といふ新人が入社した、第一回作品は池田監督の「姉妹」に出演。……▲

神戸、京日、大阪時事の三新聞が全日本から蒐集した美男美女は八木宏、鈴田喜美子、上村春親と三人と決り全部日活に入社する。……▲

千惠藏の「金的力太郎」は美男千惠藏に金と力を與へた映畫だと特に女性ファンへ宣傳して欲しいさうだ。……▲

トーキー一本つくるのに何人要するかと調べた結果によると、出演俳優を除いて最少限度百三十人かゝる。……▲

ユニバーサル社の三二年度製作豫定は特作廿六本と決定、そのうち「西部戰線」のルウ・エイアースは七本主演する。

古いフイルムを買收して燒棄　ピックフォード孃の隱退

十年來相も變らぬ人氣を保つてゐるハリウッドのスター、メリー・ピックフォード孃は映畫界隱退を決心し最近手を盡して自分に關する古いフイルムを買集め一生懸命で破棄してゐるといふ報道が傳はり今後スクリーンの上でも再び見る事が出來なくなるといふので全米のファンを失望させて居る。ピックフォード孃は東洋旅行から歸る夫ダグラスを迎へる爲め最近當地に來たので各新聞記者が待つて居ましたと許りに包圍して話を聞いた處右の報道が事實である事が確かめられた。古いフイルムを買集めて孃の自ら語る所によればフイルムに殘した自分の姿を後代の人に渡したくないのださうでそれがため孃は自分の[illegible]書に追善をし孃の死後に殘されたフイルムの或るものを破棄する樣遺書執行者に委ねてあると。孃が斯うまでにするのは次代の人達に隱退後に就ても是認し十年來隱退を思ひ付いて居たが今迄發表しなかつた事を語りまだ何も決めては居ないが隱退後は化粧料コールド・クリーム業を始める積りと打明けた。

本社特選　新棋戰（百六）

香落　七段　△宮松關三郎　五段　▲齋藤銀次郎

【圖は四三銀迄の局面】　▲齋藤氏　持駒　歩　／　△宮松氏　持駒　歩歩

△五八金　▲六九飛成ル
△七八銀　▲七九龍
△六八角　▲八八龍
△八六歩　▲七七歩
△同桂　▲九七桂成
△四六歩　▲五七歩
△同金引　▲四六歩
△四四歩　▲同銀右

△八五桂　▲五五銀

【土居八段講評】△宮松君は七八銀と引き以下敵龍を安全の地へ据ゑさせたのは拙策である。この龍が生きてゐては自營亂れてゐる爲に指しにくい局面になるに相違ないから、六八角、九七桂成、七八銀と指して兎に角龍を手に入れて戰ふ方が得策である。

【萩原六段解説】宮松氏の五八金引以下敵龍を攻めて自玉の安全を圖りしは當然であるも何分敵龍に働かれ、然も敵の陣形が仲々よい故、香德であるも形勢は互角である。齋藤氏の九七桂は七七桂と交換しては後手になる故、九七桂となつたのである。この樣な順はよく生じるのである。宮松氏の四六歩は四九香の活用を溯つた手で、齋藤氏の五七歩は敵若し同金上るなら八七成桂と攻める順があり、又同角では七六歩と打つ手がある故、同金引は當然の手である。宮松氏の四四歩は敵の陣容を亂す意味と、後に七六角の順を窺ふ意味がある。

此の名篇揃ひを階下四十錢開放

東亞週間!!　東亞現代大悲劇　●子をめぐる人生　天才小役…柳光子主演
東亞獨專●嵐寛壽郎●原駒子の　當り狂言●原作●佐々木味津三氏　むつつり右門十六番手柄　主演　嵐寛壽郎　原駒子　助演　阪東太郎　東正二郎　歌川絹枝　頭山桂之介　阪東國太郎　愈々問題の珍人善光寺辰出現！
東亞時代劇　●上村喜劍　羅門光三郎主演
[illegible]館

十一日より芝居と映畫の珍番組
木村次郎監督現代大悲詩劇　夏川靜江・美濃部進主演　曉の唄　解説　鶴見英一郎
東坊城恭長監督學窓正喜劇　大日方傳・佐久間妙子主演　僕には戀人があります　解説　土生青兒
ルンペン座第三回試演情緒劇・櫻川連中特別應援出演　眞夜中　演出　宮田六郎
清瀨英二郎監督大劍戟哀錄　清田清・山田五十鈴主演　江戸美少年錄　解説　喜多流一郎　白藤六郎
階下　金四十錢
常盤座

八日よりの新番組
風光る水色六月の王座　極め付の名畫大進軍
サンデー毎日所載●●●林長二郎主演の三尺物●千早晶子・東榮子共演●紋三郎の秀　意地と張りで立つ紋三郎の秀が痛快無比の熱血譚
月田一郎●筑波雪子主演　花岡菊子・河村黎吉共演　愛雛の青春
阪東壽之助嵐德三郎主演　雄々しくも生活戰線に立つ或兄弟の涙のおはなし　長兵衛と權八　今も猶傳はる小紫權八の戀模樣悲劇の因果ばなし
●晝●十二時三十分映寫●　●夜●六時五十分映寫●　入場料四十錢
南座

十一日より　晝間…十二時半より　夜間…六時五十分・　普通料金　階下四十錢
ロイドの珍白魔　ハロルド・ロイド主演
森の傳令　名犬ブラウヘルト君主演大活劇　リンテンテンの持つスピードとウイットとユウモアを標準したリンテン第二世が映畫界に投じた第一回目の朗らかな主演映畫　未踏の森林に起つた忠犬奮闘劇
シンギング・フール　世界的歌手アル・ジョンソン主演・ジョセフイン・ダン孃・ベテイ・ブロンソン孃助演●●●父性愛強調の大映畫にしてこのジャズシンガーの主演は斯界にセンセーションを捲き起しコスモポリタン劇場に十八ケ月のロングラン興行をした不朽の大映畫●是非御觀賞下さい●●●
大日活

全滿輸組定時總會 各組合よりの提出議案

出資繰入金利用並に限度擴張 缺損補塡準備金、爲替資金設定 中心問題とさる

來る二十九日、大連商議樓上にて開かれる全滿輸入組合第三回定時總會に各組合より提出する議案は大要左の如く、出資繰入金利用、限度擴張、缺損補塡準備金、爲替資金設定などが中心問題となつてをり、聯合會案が大部分、八月の臨時總會に提案することになつたのは既報の通りである

提出議案

一、昭和五年度事業報告書、貸借對照表、財產目錄、收支計算書及剩餘金處分案承認の件
二、昭和六年度豫算承認の件
三、定款變更各組合提案
(イ)出資金に繰入るべき自然增加金利用に關する件
出資金に繰入るべき自然增加分は別途特別出資金として滿鐵會社の認むる條件により貸付規程第六條並第七條を適用貸付を行ふこと(哈爾濱組合)
(ロ)自然增加額の保留を解除し其增加額は貸付に利用せしむること(奉天組合)
(ハ)利益金處分方法の改正 定款第三十八條を左の如く改む「各會計年度に於て利益ある時は後期繰越金及缺損補償準備金に充當するものとす」(同上)
(ニ)組合定款第二十六條第一項中「代理人は」の下に「理事」を加ふること(長春組合)
四、貸付規定改正に關する各組合提案
(イ)貸付限度を信用三倍に擴張すること 貸付規定第六條「信用貸は借受人拂込出資金額の二倍を限度とす」の次に左の但書を加ふ「但し組合員同業者が部內會を組織し協同して仕入をなす場合には前項の貸付　度は三倍迄擴張することを得」(奉天組合)
(ロ)貸付方法の改正 貸付規定第九條の二項に「前項の手形は借受人、これを振出し殘餘の商團員振出保證を爲し理事之に裏書を爲すものとす」とあるを借受人振出し殘餘商團員の裏書となすことに改めたし(同上)
(ハ)貸付金利息拂戻額中より一定額を缺損補償準備金として積立つること(同上)
(ニ)組合貸付規定第十一條第二項「驛」の下に「國際運輸株式會社」の九字を挿入(開原組合)
(ホ)組合貸付規程第十一條第三項末尾「小切手を交付す」の下に「此場合理事は仕切書以外に運賃領收證又は之を證明する書類の提示を要求することあるべし」を追加す(同上)
(ヘ)組合貸付規程第十一條第四節末尾「交付す」の下に「但し木炭、籾の如き賣主が一時に數多の場合は之が代表者又は理事を受取人として橫線小切手を交付することを得」を追加す(同上)
五、內地駐在員に爲替資金設定の件(理由)各地輸入組合員の仕入を一層有利ならしむるため東京大阪兩駐在員に爲替資金を新設し、現金仕入に依る好條件を獲得せしめんとす、その方法は聯合會所有積立金の內必要に應ずるに在り、右程度の資金にて實替取組の資源となさしめんとす內地銀行預金となし各組合宛爲地經驗を積み愈々有利なる確めたる上は新に設立されんとする特別積立金に對し滿鐵より無利子資金の融通を受くるか或は他に適當なる方法を講ぜんとするにあり(聯合會)
六、各組合提案
(イ)全滿組合劃一主義變更の件「聯合會定款第十五條に特例を設け各組合に共通する重要事項と雖も聯合會滿鐵其の他關係方面の認諾せる場合は聯合總會の議を要せず實施し得ることに改正すべし」(哈爾濱組合)
(ロ)滿鐵融通資金の運用方法の件 各組合を獨立せしめ將來滿鐵より資金の援助を仰がざるも自立し得る方法として滿鐵融通資金の運用を左の方法に改むる事
(一)滿鐵よりの融通資金五百萬圓を一括して聯合會に借入ること
(二)聯合會は右融通資金を各地組合の狀態に應じ分割貸興し各組合に分割されたる資金は滿鐵より指定されたる方法により銀行に預金し組合員に對する貸付資金に充當す
(三)滿鐵よりの前記融通資金の償還は該資金の利息及貸付金利息中組合員に拂戻すべき分並に缺損補償積立金を以て充當すべく此償還年度及率は別紙の通りとす(以下略)
(四)各地組合の聯合會に對する責任は各地組合獨立して之を負ふ
(五)各地組合に對する監督は滿鐵に於て定められし方法に依る(奉天組合)
(ハ)聯合會費を免除すること(同上)
(ニ)組合の貸付は組合理事に於て行ふことに改正し銀行手數料を組合缺損補償積立金として積立つることに變更の件(長春組合)
(ホ)內地における主要見本市(大阪東京名古屋京都等)招待者の銓衡に關し輸入組合の推薦したる者をも招待するやう內地駐在員の斡旋を煩はし度し(奉天組合)
(ヘ)職員身元保證金の規程を設くること(同上)
(ト)輸入組合審査委員會設置に關する件(長春組合)

大連市卸賣物價 平均一分四厘の低落

大連商工會議所調査による五月中平均の大連市卸賣物價は左の如く調査品目七十八種中前月に比し騰貴五種、低落三十三種、保合四十種で平均一分四厘の低落となつてゐる、これを前年同月に對比すれば一割八分の低落となり更に同所基準の昭和九年一月に比較すれば二割三分八厘の低落である、即ち前月に對比し騰落品種左の如し
▲騰貴 白米、朝鮮特等)粟、馬鈴薯、澤庵(東京)梅干
▲低落 大豆、小豆、高粱、麥粉(外國粉、日本粉)砂糖(YKO YP)、淸酒(內地物)麥酒、茶、澤庵(州內品)、干瓢、椎茸、煉乳、鮮魚カレイ、綿糸、綿布、晒木綿、モスリン、蒲團綿、木綿糸、石灰、木材(紅松、日松)丸鐵、亞鉛引平板、銅塊、洋釘木炭、燐寸、麻袋、豆油、豆粕
▲保合 白米(滿洲米)、押麥、味噌、醬油、食鹽、淸酒(州物)、煙草、鰹節、昆布、筍、牛肉、豚肉、鷄肉、ハム、牛乳、鷄卵鹽鮭、ネル、綿紗、毛糸、セメント、煉瓦、瓦、板硝子、銑鐵疊表、塗料、石炭、コークス、薪、石油、ガソリン、酒精、石炭酸、苛性曹達、半紙、唐紙、洋紙
更に類別による騰落を示せば左の如くである

類別	前月を百とせる對比	前年同月を百とせる對比
穀菽及蔬菜類(十一品)	一〇三、五	六一、〇
調味及嗜好品(十二品)	九八、八	八〇、九
雜食料品(七品)	九七、三	九六、九
肉類及魚類(九品)	九六、九	七九、九
衣料品(九品)	九六、四	八二、六
建築材料(十四品)	九七、六	八四、六
燃料(七品)	九九、一	八六、四
雜品(九品)	九八、五	八四、二
總平均	九八、六	八二、〇

新滿鐵正副總裁 大連經濟界で斯く語る

社業振興に全く適任者 瓜谷長造氏談

滿鐵の正副總裁は共に更迭したのであるが、內田伯にせよ、江口氏にせよどんな人であるかよく承知しないが總裁に內田伯のやうな永く外務の首腦者であつた人が就任して大局から滿鐵の進むべき道を決定し、女房役として江口氏のやうな事業家が据はられたことは寔に結構だと思ふ、僕等は平常から滿鐵はどうしてもビジネスマンが首腦者とならねば駄目だと思つてゐたのである、然しながら總裁が直接陣頭に立つて餘りに仕事をやり過ぎると却つて山本條太郎氏のやうに諸種の問題を生じ勝ちであらうと思ふ、故に副總裁にビジネスマンを得たことは滿鐵の社業不振の折柄、實に適任な者を得たものだと考へる

時節柄適任者 鮮銀支店長談

內田伯は實業方面には從來關係の薄い方と思ひますが、滿鐵會社は事業方面には幾多の權威者もゐれる事だし、殊に昨今のやうな外交上種々の紛糾を來してゐるし、殊に滿鐵は事業會社といふもの丶特殊な國家的使命を有してゐるところであるから最近のやうな外交上多事多難の折柄內田伯のやうな外交方面の明るい方を迎へることは非常に良いことゝ思ひます

市民は心强い 石本鏆太郎氏談

江口定條君は僕と同鄕の土佐人である、三菱の江口として鳴らした人で三井の山條と匹敵する切れ者である、僕が曾て昭和製鋼所州內誘置運動に上京した際屢々會つて話したが好く諒解して呉れて種々の便宜も與へて呉れた、田中內閣倒潰の直前、會社は創立總會を開いて時の山本滿鐵總裁が一氣に新義州へ設置せんとしたが、當時の小村拓務次官が頑張つて捺印しなかつた、その經緯なども江口君から敎へて貰つたやうな次第で斯く理解ある處の氏を副總裁として迎へる事はわれ等大連市民として且つ昭和製鋼所州內設置運動のため誠に好都合な譯である

非常な努力家 三菱支店長談

江口氏は吾々の大先輩であり三菱の現重役は悉く江口氏の配下にゐたのだし、非常な努力家であると共に人格者であるから最も適任を得たものと思ふ、今は三菱との關係も絕たれ、一つ橋の東京高商出身者を以て組織してゐる如水會の理事長で只管後進の誘導に努力せられてゐたものである

滿洲市場總まくり 經營を合理化する 組合と脣齒輔車の豆信

大連特產市場 (4) B記者

取引人組合と豆信營事者とは恰も脣齒輔車の關係にあるのが取引所信託會社、通稱豆信である、豆信の業務は大連取引所に於て成立する滿洲特產物たる大豆、高粱、包米、豆粕及小麥の先物賣買取引履行の擔保、淸算並に豆油の先物取引の淸算をなす更に取引人に對して資金の融通をなすにある、大連取引所が所謂官營であり、官廳が直接賣買取引に對する擔保の責に任することが出來ない所から取引所附屬の豆信が特許設置されたものである、從つて豆信の經營が合理的に行はれるか否かは、直に取引人にとつて至大の關係を有するのだ、それと共に取引人組合と豆信營事者との融合が圓滿なるや否やは、又直に特產の盛衰に關すること多大である、その緊密なる關係は車の兩輪の如くであることを要し何れか一方のみが榮えることを許さない

◇

さきに銀價の停止するを知らぬ暴落で豆信の手數料收入が激減して會社經營上非常な困難に遭遇した時に、臨時手數料として金二十錢を增額することが、兩者の間に圓滿解決をみたのは、この間の事情を物語るものではなからうが、銀暴落による打擊は獨り豆信會社のみに止まらず、取引人自身にとつても非常な痛手であつたに相違ない、それにも拘らず田中前專務以來の懸案であつた手數料引上問題が、本年初頭に至つて急轉直下的に解決したのは、銀暴落による豆信の收入減による經營上の困難を取引人側において諒解したがために外ならない、勿論手數料問題解決の裏面には、田村專務と寺田組合長の誠意ある努力を忘れてはならない。殊に寺田組合長が多忙の身を會社側と日華取引人側との間に立つて、よく奔走調停の勞を執つたその努力は實に涙ぐましきものがあつたと言はれる、かくて會社側と取引人側との間には何等のわだかまりもなく極めて融合した和になることは明日への特產取引の隆盛を期する上に於て最も喜ぶべきことの一つであらう。

◇

擔保淸算會社としての豆信の合理的經營が行はれ、その內容の充實が取引振興の一助となることは既述の通りだが、この意味に於て、過般の臨時總會で資本金千五百萬圓を千百五十萬圓とし、三百五十萬圓の買入減資を行つたことは、特記するに値する、卽ち銀の暴落によつて取引に對する豆信の擔保力は著るしく增加した、そこで市場取引の安全を害することなく會社の成績を舉げるため、過剩せる擔保力を適當に調節することは最も時宜に適したものと言はねばならぬ、これによつて會社經營の合理化を圖ることは如何なる會社も急務中の急務であるべき筈だしかも今回行はれた減資が世上にありふれた不良資產の切捨等のため、餘儀なく減資したものとは著るしくその趣きを異にし、擔保會社としての資產を合理化するにあつたことは近來の快事といふべきで、この點取引人側に於ても何等異論のあるべき筈なく、共に相攜へて光明ある將來への躍進を持續せねばなるまい。

◇

昨年六月の總會で滿場一致の推薦を以て田村半三氏が豆信專務に就任して恰度一年になる、一般の期待に背かず田村氏も滿存に勉强した、手數料引上問題と、減資問題の解決だけを以てしても在任中の仕事として恥しくないわけだ、反面から言へば潮流に乘つたものとも言へようが、そこには氏さんとし爲さざればやまざる誠意ある努力が傾倒されてゐたことは想像に難くない、努力家として、將又頭腦明敏なる人として定評ある田村氏は又商工會議所常議員中のピカ一でもあるやうだ、僅々一ケ年に滿たざる間に、懸案の二問題を處理し得た氏にはまだく期待すべきものが多々あるであらう、差當り豆油受渡制度の改善の如きは氏の助力を要するもの丶一つではなからうか、氏は決してこの方面の素人ではない、なかば素人の部類に屬する人だが、それだけに物の見方は從つて新しいのではなからうか。

◇

些か脫線に過ぎるやうではあるが最近支那鐵道の異常なる發達と東支鐵道の躍起的の蠶食策によつて特產物の輸送系統にも幾分の變更をみんとしつ丶あるのは見逃し得ない事實である、大連港より特產を除いて何が殘るであらうか、豆の都の大連としてその名を恥しめざるべく、取引人側も信託も相協力して健實なる步みを進るがよい

【寫眞は豆信事務室と田村專務】

浦鹽の船舶課稅 困つた問題、成行を注目

【ハルビン特電十二日發】浦鹽蘇聯組の近藤社長は十二日來哈した浦鹽船舶業者に對する勞農側の課稅問題につき語る
ブレンネル會社の責任者逃亡後は勞農備船局で會社の仕事を引取つてゐるが結局國營商船隊へやる事になるべく、それだけ外國人の船舶業を回收したことになる、從來免稅されてゐた通過貨物に對し規則改正を理由に五月末莫大な金額にのぼる課稅通告を受けたが早速抗議はして置いた、併し困つた問題で成行如何は注目してゐる。

東支鐵道も在庫品拂出 哈市一般商人は大打擊

【ハルピン特電十二日發】昨冬以來七千名からの馘首を斷行した東支鐵道は逐一手當支拂不能のため建設材料、薪、紙、鋼管などストック品を拂ひ出してゐるが、これを受取つた舊從業員は現金に替へるため市價より四十五%安で賣放つてゐるのでこのストック品が東支社用品の名目で安運賃を利用しダンピングされてゐるソウエート商品と共に市中に氾濫し始め折柄の不景氣に四苦八苦の一般商人に大打擊を與へてゐる

州內の製鹽振はず 然し輸出量は却て增えよう

州內双島灣、貔子窩、五島の大日本各鹽田、普蘭店登沙河の東拓鹽田の今期製鹽は四月以來天候不順にして降雨多きため業績頗る思はしからず、未だ輸出期にも入らぬに貯鹽量は二月の端境期に於ける四億八千萬斤を僅に出でたのみにて前途を非觀され、昨年の成鹽四億一千五百萬斤に比し本年は四億臺を割るであらうと觀測されてゐる、而して他面輸出は內地專賣局朝鮮、香港、カムチヤツカ等の各地向け何れも山東鹽、スペイン鹽の廉賣、銀安、內地製鹽旺盛等のため輸出減を豫想されてゐるが、近年州鹽の唯一の顧客として頓に輸出旺盛を極め來つた內地工業用鹽の輸出は本年も頗る有望にして旭ガラスの牧山工場及び日本ガラス材料所を得たるもの

朝鮮に新設の製粉會社 糖業界に脅威

【東京十三日發】米國資本により昨年朝鮮平壤に工場を新設した日本コーンプロダクションは八月より滿洲玉蜀黍を原料に澱粉葡萄糖の製造を開始せんとしてゐるが、同社は資本金一千萬圓、三菱、大倉の資參加もあり販賣權は三菱商事と交涉中であり、製造葡萄糖は精製糖の六十パーセントに過ぎざるも百斤當り生產原價は僅々六圓にとゞまり精製糖の十八圓に比し三分の一に過ぎず、同工場は葡萄糖五萬ピクルの生產能力ある等我糖界の脅威となり糖業聯合會は早くも葡萄糖消費稅附加を陳情せんとしてゐる、なほ三浦同社平壤工場長は十二日大藏拓務兩當局に陳情した

スの撫順山曹達灰工場の擴張は必然的に州鹽の輸入增加を見るべく昨年度中一億七千萬斤を輸出したる州鹽は本年は二億五千萬斤乃至三億斤の輸出を見るべく豫想されてゐるので、全體的輸出量は却て前年より增加するとも減少せず四億斤を突破するであらうと

黄塵

◇…仙石老總裁東都に病みて歸らず滿鐵多事多難の折柄些か不安な空氣を釀してゐたが政界財界の兩巨頭を正副總裁として迎ふ。
◇…時は今雨が下知る隣邦支那の猷々ッ兒外交に惱まされ日本朝野の人々も滿蒙の權益擁護と大滿鐵の國家的使命に眼覺め外交界の權威者たる內田伯を滿蒙の第一線に送る。
◇…そして一面營利的方面のコンダクターとして配するに多年三菱王國の巨頭たる江口定條氏を以てす。
◇…由來內田、江口兩氏は同仁會正副會長として支那問題を理解する人々である、蓋し兩氏共適材適所を得たるものと言ふべきであらう。

手形交換高 (十三日)

	枚數	金額
金	一〇四三枚	五〇、三九八圓
銀	三二枚	九、八六六、一四三圓

市場電報

銀塊及爲替

倫敦銀塊 十二片十六分ノ五
同 先物 十二片十六分ノ三
紐育銀塊 二十八仙二分ノ一
孟買銀塊 四十一留比十六分ノ十五
スチール 九十一弗八分ノ三
アナコンダ 二十二弗八分ノ三
英米爲替 四弗八十六仙卅二分ノ一
米日爲替 四十九弗八分ノ六仙
米支爲替 二十八弗二十分ノ十五

綿花

現物 八、一〇
七月 八、一〇
十月 八、四八
十二月 八、六三
一月 八、七二
三月 八、九四
五月 九、一二

印度棉 ベンゴール 一四〇留比
ブローチ 一六三留比

市況 (十三日)

特產

買氣あつて大豆强調

後場の定期は大豆は買氣あり保合を辿り豆粕は添はず保合を辿り高粱は集付商狀を呈した

錢鈔

標金軟調 鈔票睨り

今朝海外銀塊は倫敦近物十二片十六分の五(十六分の一高)、同十二片十六分の三、紐育二十八仙二分の一(八分の一高)、孟買四十一留比十六分の十五(十六分の一安)、上海標金も軟調を傳へ鈔票睨り、滙中七十一兩五、滙如六十九兩四、英米クロス八十八十五錢、大洋二十八、十六分の十五(三十二分の一安)、米日四十九弗卅八仙の一高

株式

大株大新暴騰 東新も睨り

糸

株

銀

豆

爲替相場

上海爲替情報

奧地市況

錢鈔

物貨在庫頭埠 (單位噸) 6月8日

滿洲日報

對支諸問題の解決は日支諒解すれば容易
實業方面の事情は之から研究
内田新滿鐵總裁語る

【東京特電十三日發】内田伯、江口氏の滿鐵正副總裁は本日發表された、内田新總裁は同日外務省の有田亞細亞局長を招致し滿洲の事情及び滿鐵事業の内容を充分聽取したが、新總裁は午後四時半四谷本村町江口副總裁邸で左の如く語った

今度政府から總裁に就任して吳れとの交渉を受けたが自分は鐵道事業其他實業方面の事は全く經驗がないので江口君に援助を依賴した處その承諾を受けたので自分は喜んで受諾した次第である、鐵道については無經驗で實業方面にも之から勉强せねばならぬ、支那との鐵道交渉も、調査の上でないとお話する譯に行かぬ、從來滿洲には**三重外交とか四重外交とかがある樣にいはれてゐるがそんなものは無い**、又有つた處でよいではないか、軍人は軍人の立場より國家に盡してゐるのである近頃問題の總裁の恒久性といふことも自分も同感だ、滿蒙問題その他對支關係につき色々感ずる處があるが、要するに**日支相互に諒解し合ふ事が肝腎で**それにより問題は容易に解決する事と思ふ、張學良氏とは以前天津で會つた事がある、廿日の總會が濟めば成るべく早く滿洲に赴任する考へである

新總裁は更に雜談に移り私は日露戰爭當時支那公使を奉職してゐたので支那の事情は割合によく承知してゐる、その後昭和元年と三年にパリー不戰條約會議に臨む時滿洲に立ち寄つたが滿洲は自分に取つて何となく印象の深いところだ、自分は六十七歲だが幸だけは非常に丈夫だ、相變らず水風呂に入つてゐるが滿洲の冬ではこれは出來まい、日露役に旅順が陷ちた時遼陽で一度水風呂に入つたが何しろ氷を割らなくちや水が出ぬし手拭が棒のやうになつたことは未だに忘れられない滿洲は一種の懷しいところだと平素の六ケし屋に似ず機嫌がよかつた

全力を擧げて努力
内田新總裁とは從來から親交
江口副總裁の意氣込

【東京特電十三日發】滿鐵副總裁就任受諾直後の江口定條氏は一ツ橋如水會館において記者を引見し左の如き挨拶を述べた

各方面の斡旋を得てその器に非ずと思つたが兎も角副總裁就任を受諾することにした、滿鐵の仕事はなかなか六ケしいし、その上問題も非常に多いと聞いてゐるが在滿諸君の後援を得て折角努力したいと思つてゐる、内田總裁とはズツと前から色々の關係があり二人の間がピツタリ行つてゐる點は他人から羨ましがられてゐた程である、就任した以上全力を擧げて總裁を援け帝國のため盡す覺悟である、未だ夫々要路へも挨拶を濟ましてゐないし多忙を極めてゐるから惡しからず取敢へず貴紙を通じて在滿各位に宜しく傳へて吳れ給へ

斯くて續々訪れるお祝客と挨拶を交してゐた

福田顧問官
内田伯と會見

【東京十三日發】樞府顧問官福田雅太郎大將は十三日午後一時半内田康哉伯と會見し伯の滿鐵總裁就任について懇談した

農相、江口氏訪問

【東京特電十三日發】江口定條氏は本日午後町田農相の訪問を受け長時間に亘り懇談するところあり

内田伯江口氏訪問

【東京十三日發】内田伯は午後二時四十五分自邸を出で市ヶ谷本村町の私邸に江口定條氏を訪問した

四谷見附の邸宅は多數の祝客で非常に混雜してゐる

仙石翁上機嫌

【東京特電十三日發】滿鐵總裁を辭任した仙石翁は今日は氣分もよく病床に半身を起し久し振りに床屋を招き綺麗に散髮した後任正副總裁の事を鍋島秘書から報告すると

ホウ面白い顏觸だナまことに適任者だ、この二人なら俺も安心した

と快く語つたとのことである

聖上親しく稻苗を御植つけ遊ばさる
きのふ御苑の水田に

【東京十三日發】天皇陛下には農事御奬勵、生物學御研究の思召で今年も吹上御苑水田に親く稻作を遊ばす事となり、先月三日御苑内に播種された稻苗を梅雨晴れの十三日午後二時から親く御挿苗遊ばされた、服部御用掛、河井侍從次長、黑田、野口侍從も御相手申上げたが今年の御作付稻種は早稻、愛國、選一の三種である、なほこの外陛下には印度及び暹羅產陸稻その他をも畑地に御播種遊ばされた

大分補缺選擧
民政篠崎氏當選

【大分十三日發】大分縣第二區衆議院議員補缺選擧開票の結果左の如く民政黨の勝利となつた

當選　三五、二〇〇票　篠崎豐彦（民政）
次點　二八、一九八票　三Ｘ尚衞（政友）

斯波博士に叙勳

【東京十三日發】東大教授斯波工學博士は來る十五日左の如く敍勳一等に敍せらるゝ事となつた

從三位勳二等男爵　斯波忠三郎
敍勳一等授瑞寶章

木村滿鐵理事入京

【東京特電十三日發】木村理事は本日十時十五分東京驛着大淵支社長その他の出迎へを受け直に自宅へ向つたが十四日は休養し十五日外務省に出頭、鐵道交渉の經過その他を報告する筈、村上理事は十二日仙石翁に面會見舞を述べ最近の鐵道事情を報告し懇談二十分にして辭去した

北極の氷底を探る（八）

極地で半生を送った熱血兒ウ大尉
けふまでの輝やく數々の偉功

サー・ジョージ・ヒューバート・ウイルキンス大尉とは如何なる人物か？今年四十四歲一八八八年十月三十一日に、南濠洲マウント・ブライアン・イーストの片田舍ハロウインの名もない一農園で初めてこの世の光を見た、農園などと氣の利いた名で呼んで可いかどうか兎に角一番近い里まで廿五哩あつた、父親は五十二歲、母親は五十歲、ジョージ・ヒューバートはその十三番目の子であつた、この天涯の兒の腦裡に早くから刻み込まれた想念はこの地球の涯の涯の何處かで二十年間を旅行と探究とに彷徨ひ暮し、その後の二十年間を南北兩極を含む全地球的な天候通報の完全なサーヴイスの組織と完成に捧げたいといふ燃える如き熱意であつた、今日まで實に十八年間に亘る彼の極地生活中、常に夢寐にも彼の腦底を去る事のなかつた火の樣な一つの想念であつた

◇―◇

ジョージ・ヒューバートは初めアデレイド鑛山學校で電氣技師としての教育を受けた、後廿三歲の時飛行術を早くも習得し、又寫眞術にも秀れた技能を持つてゐた爲に幾何もなく航空寫眞師としての珍しい特異な地歩を築くに至り一九一三年初てステフアンソンの北極探檢隊に參加したのも實に寫眞技師としてゞあつた、ステフアンソン探檢隊でのウイルキンス大尉は母艦「カルルック」號が沈沒した爲めにその撮影準備品の殆ど全部を失つて了つたが尙且つ一九一七年まで一行中に止まり、最後には副隊長の地位にまで進んだ、しかし當時歐洲大戰は旣に酣はとなつてゐたので母國愛に燃える彼は濠洲軍撮影班長にまで拔擢せられた

◇―◇

ウイルキンスは濠洲飛行隊に入隊し、フランス戰線に出動して砲煙彈雨の間を馳驅し、銃彈に傷くこと實に九度、物凄い榴彈の炸裂に遭つて土中に埋沒せられること數度に上つた、勳功により大尉に昇進し、勳章を授けられ、濠洲出征軍撮影班長にまで拔擢せられた

しかし彼の心の故鄕は何といつても極地であつた、一九二〇―二一年の英帝國南極探檢隊には副隊長として參加し、二一―二二年のシヤツクルトンの最後の南極探檢にも科學班に加はつた、又二三―二五年の英國博物館主催の濠洲科學探檢隊には自ら隊長として二年間に亘る汗と脂の貴い探檢を遂行し、その記錄はその著「未發見の濠洲」中に詳述せられてゐる

◇―◇

彼は又トルコ・ブルガリア戰爭に從軍通信員兼撮影技師として從軍し、西印度諸島を踏査してココア園の撮影をなし又飢饉救濟の爲めドイツ、ポーランド、ロシアの諸地方に奔走した事もある、とはいへ、彼が眞に極地探檢家として世界的に秀いでるに至つたのは一九二七年彼が北極地方の探檢飛行を決行してからであつた、彼はその前年旣にアラスカのポイント・バロウに於て探檢飛行を企てゝ三千哩の離陸を試みんとしたが遂に失敗に終つた、ウイルキンスはその翌年の最初の極地飛行に於て、五百廿哩に至り未だ何人にも探檢せられなかつた地方を究め、且つ北極洋の深海が少くも三哩以上の驚異すべき深さである事を確めた

◇―◇

この探檢の翌年の一九二八年春、ウイルキンス大尉は三度びポイント・バロウを訪れてカール・エイルソン中尉と共に「北極」縱斷の大飛行を敢行し、四月廿一日ポイント・バロウから「北極」の眞上を越えて、遠くスピツツベルゲン迄、總程二千百哩の氷原を、前後二十時間半で飛破した、この「北極」飛行は決して一番乘りではないそれどころか、それ迄には既に飛行機が飛行艇が數回に亘つて「北極」を訪れてゐる、それにも拘らず尙且つ三度び北極地方の飛行を企てゝ遂に成功し、然も數々の貴重なる發見を遂げた

◇―◇

ウイルキンスはこの功によつて英國皇帝からサーの稱號を授けられ從男爵に列せられた然もウイルキンスの極地への愛は彼を驅つてその秋直に南極探檢飛行を敢行せしめた、この飛行においてウイルキンスはグラーム・ランドが南極大陸から離れた獨立の島であり且實は二個の島から成り立つてゐるものである事を發見し、其他數個の新しい島嶼を發見したのである

【寫眞はウイルキンス大尉】

北方の不安に備へ奉軍大移動
于軍は平漢線を南下

【天津特電十三日發】張學良氏の病氣を中心に北方反蔣派の運動愈々盛んとなり謠言頻りに傳はつてゐるが奉天派巨頭連は何しろ御大が病床に橫はつてゐるので決定的態度を表明する事出來ざるも不安の空氣益々濃厚となり人心動搖しだしたので萬一に備へる爲め今回愈々軍隊の移動を決行すべく北寧鐵道路局に對し軍事輸送用として百ケ列車の準備を命じ新たに奉天軍の關内入軍を見るに至つた、即ち于學忠軍は平漢線に沿ふて南下し石友三軍の北上に備へ于學忠氏は保定に司令部を置いて之が警備に當りその後詰として胡毓坤軍が入關し胡軍は本日午後一時その先發隊約千六百の着津を手初めに本日中に約二千七百到着する筈尙胡軍は專ら平津地方警備を擔當しその全軍は約三萬である

北方反蔣軍に軍資金二百萬元
閻錫山氏より送附

【天津十三日發】閻錫山氏は北方一反蔣軍に軍資を供給するた一時躊躇してゐたが最近三百萬元を太原に送り來つたので反蔣派は旣に活氣づいてゐる

于軍先鋒隊出動準備
保定石家莊へ

【北平特電十三日發】東北軍第一軍長于學忠氏所屬の步兵五旅騎兵一旅は全部平漢線に出動する事となり先鋒部隊は既に保定、石家莊に向け出動準備を開始した

張繼氏北平へ

【香港特電十二日發】張繼氏はプレシデント・ウイルソン號で十一日發上海經由北平に向つた

なほその口吻は頗る悲觀的で廣東側の要求には蔣の即時下野がある事は判らぬらしい模樣である

張學良氏は近く退院
張群氏談

【天津十三日發】蔣介石氏の特使張群氏は北平より歸京の途次昨夜九時半天津を通過したが、車中左の如く語る

學銘氏と共に親しく學良氏の病狀を見舞つたが、氏の病狀は漸次良好で茲十日もすれば退院出來やう

執監會議成立す
委員二十三名出席

【南京十三日發】第五次中央執監全體會議は午前八時開會、蔣介石氏以下二十三委員出席、定足數十九を超過して會議は完全に成立を告げ八時半散會豫備會議を開いた

重要討論事項

【南京十三日發】今回の全體會議重要討論事項左の如し

一、國民黨第四次全國代表大會召集の件（今年の双十節か來年一月一日とならう）
二、胡漢民復職の件
三、國民政府改造の件（行政院長于右任、立法院長丁惟汾、考試院長戴天仇、監察院長蔡元培、司法院長王正廷氏の評判高く外交部長は後任を置かず王家楨氏に代理せしめるであらうと）
四、廣東討伐の件

主席團推薦

【南京十三日發】全體會議豫備會議は午前八時半本會議閉會後開會于右任、楊樹莊、宋子文、丁惟汾四氏を會議主席團に推し引續き九時より第一次本會議を開き

一、廣東事變に關する政府の方針決定案（共匪討伐の必要上廣東とは努めて和平解決を圖るが廣東側にて飽くまで挑戰せば武力を以つて討伐す）
二、共匪討伐のため全國民の協力を求む
三、國民組織法改正案

廣東との妥協悲觀
張繼氏の口吻

【上海十三日發】張繼氏は本日左の如く語つた

廣東で孫科、唐紹儀氏と十分意見を交換した結果兎も角和平妥協案を得たので歸つて來た、内容は時局に重大關係があるからいはれないが、蔣介石氏に報告の上協議する譯であるが將來の

今後共匪討伐に全力を注ぐ
南京政府、廣東問題を樂觀

【南京特電十二日發】廣東に赴いてゐる張繼氏は近く歸京する事となつたが右の報に接した中央では張氏の歸京は或形式で和平解決の望みはあるものとして前途を樂觀してゐるが廣東は財政の困難並に複雜なる内部の勢力爭ひ更に陳銘樞氏部下の中央擁護等の材料から最早重要視する必要なしとし專ら共匪討伐に全力を擧げる事に決したもの、如くで蔣介石氏は別項の如く來江週西に出發すると同時に隴海線方面その他から八個師を增派する事にしたが完全なる剿滅を期するには普通の手段では及ばぬを知り毒瓦斯を用ひるの外なしとし外國商人と毒瓦斯の購入方につき交渉中だが容易に手に入らず困つてゐる

共匪剿滅
二ケ月内に

【上海十三日發】蔣介石氏は四、五日中に共匪討伐軍統率のため南京發江西に向ふに決し總司令部先發隊は昨日既に出發した、平漢線より江西に送りつゝある援軍も大半出揃ひ數日中に陣容を整備する模樣である、蔣介石氏は二十個師を三手に分ち二月内に共匪主力朱毛軍を剿滅せんとするにあり空になつた平漢線には隴海線に在る第一、第二、第三、第九の四個師を移動せしめ隴海線には雜色軍を配置し中央直系軍の南方大移動を行ひつゝある

秦寧と建寧を共匪占領

【福建十三日發】前線視察より歸來した建設廳長許顯時の報告によれば福建に侵入した共産軍兵力は約三千にして秦寧建寧を占領し總商會より二十萬元を徵收し掠奪放

本紙朝刊記事面變更

本紙朝刊記事面は十四日附より左の如く變更致しました
▲第一面　政治、經濟記事、創作▲第二面　社說、八相、市況、政治、經濟記事▲第三面　家庭記事▲第四、第五面　地方記事▲第七面　社會記事

大觀小觀

湯錢の値下げ、小刻みに「五厘だけを…」と來た▲折角堂々と總會まで開きながらタッタ五厘下げとはいやに半端な決議をしたものだ▲それよりいつそ思ひ切つた値下げを斷行、一方水道料金の引下げや石炭の再値下げ運動でもしたらどんなものだ▲正隆銀行員殺未遂事件、犯罪前後の事情に就て續々新事實現はる▲恐るべき計畫、恐るべき犯行、斷じて精神病者の發作的犯罪にあらず▲ただ氣の毒なは何も知らなかつた家族の人達、世間は彼の犯行を憎む餘りこの氣の毒な人達にまで白眼視してはならない▲そして犯罪動機の一つが若し彼のいふが如く「家族の生活を想ひ」「子供達の教育費を考へた」ためであるとするならば「鬼の眼」にも時に淚あることを知らねばなるまい▲大連醫師會の急病、廣告文にメスを揮つて全癒▲映畫館トラスト計畫のフイルム果然切斷、クランクに故障を生じた

人事

▲澄田福松氏（前大連彌生高女校長）十五日出帆のうらる丸で離連

三浦内務局長

上京中の三浦關東廳内務局長は十九日ばいかる丸にて上島屬同伴歸任の豫定

光に立て（1）
中西伊之助
山口みづき畫

星ケ浦の客（一）

斷蠍色の空の下の街——それが日向葵のやうな琥珀色に輝いてゐる。

眞黑い起重機の巨腕が、蠻津な音樂を奏しながら、海から陸へ、陸から海へ、印度巡査の棍棒のやうに振り動かされると、彼の力に全幅の運命を托した、あわれな貨物がわけもなく捩り取られてゆく。

その前に、河豚のやうな汽船が默つてゐる。頭上で振り廻される巨腕の下で、薄黑い欠伸をしてゐるものもある。八目鰻のやうに着いてゐる胴腹の幾つもの眼で、自分が遠く海を越へて搬んで來た貨物が、すぐそこの大きい倉庫の中に積み入れられてゐるのを、無心で眺めてゐるものもある。そしてまた、その頭のテッペンや尻尾の方についた藍色や紅色の薄いひれをチラチラと振つて、昨日まで泳ぎ廻つて來たひろびろとした太洋の碧い夢にあこがれてゐるものもある。

埠頭事務所も、倉庫も、待合所も、棧橋も、掘り出された鬪體のやうに煤煙で汚れてゐる。方々で呻る起重機の下には苦力の喧騒があり、空間を見つけ出して走る水すましのやうな小汽艇はヒステリックに叫びつづける。

船長、機關長、チユメーツ（チーフメート）よりも、中で汽罐たく、主がよい。乾舷では、水夫達がかけ廻つて

奴、今日俺が話したら二割五分の

今日の午前十時——豫定よりは約二時間ほど遅れて、優秀船マンチユリア丸は、その六千噸近くの華やかな巨體を、ここの埠頭へ泳ぎついて來た。

船客を出迎へる人々は、待合所から棧橋の方へ溢れて出た。

一二等船客の降りる場所は、待合所の入口に最も近かつた。そして三等船客はそれからずつと船尾の方である。朝の涼風は、金鵄でやけに臘犬を叩かれるやうな正午近い太陽の熱に追はれてしまつた。三等船客達は、露天の甲板上で五月の鯉のやうに口をあけて苦い息を吐いてゐる。

上甲板の一等船客が純白の服裝をして、涼しさうな舷側に立てゐた。ボーイがトランクを搬び出してゐる。そこの船客達は自分を出迎へてゐる人々は勿論、一般の出迎へ人に對しても、その「社會的位置」の威嚴を傷けまいとして肅然と襟を正して佇つてゐた。

「あら、お母アさアん！まつちやん！こゝよ！　こゝよ！」

谷底のように思へる中甲板の船客へ呼びかけて、迎へる人も迎へられる人も、その歡喜と悲哀を思ふざま赤裸々に露出して吝まないのは、船尾の露天に集つた三等船客の一群だつた。

東洋漁業株式會社長柏崎敏逸氏夫人朗子は、さうした粗惡な人々を彼女の誇りのためにも斷然と背を向けて、上甲板に整列してゐる

一等船客の姿を一つ一つ物色してゐた。

出帆旗の上つた舟からは毒々しい煤煙が海面を這つてゐる。

「馬鹿にしてやがら、ボースンの天引きださあ！」

「仕方がねえぢやねえか、それでもお前は彼奴に逢ひたいんだらう？ヘツエ、……」

「クラブの汗臭え毛布の中で、南京虫と抱擁ができるけえ！」

「南京虫に揺られるより、船のアイスに揺られる方が氣持だけでもよからうよヘツエ、」

大連は無限琥珀のパイプのやうな街だ。埠頭は、その吸口に浮び出した煤煙色の石炭である。それを包む碧い海のサツク。——

みづき畫

編輯者から

プロレタリア文壇の鬪士として有名である中西伊之助氏の小說を連載する本社の意圖は、同氏の抱く思想には賛同し難きものあるも、氏の藝術に對しては敬意を表すべきものがあるので、特に滿洲を背景とし、興味ある讀物の執筆を乞ふた次第である。讀者諸氏においてもよく此の點を諒承の上、愛讀下されたい。

社說

日支間の經濟戰爭
日本側の遜色

滿洲に於ける在留邦人が、勤勉にして且つ賃金の安き支那人の爲めに、經濟的に壓迫され、漸次退却を餘儀なくせられつゝある事に就ては、吾人は先日も本欄に於て一應論述して置いたが、是れは獨り滿洲に於てのみではない、內地に於ける一般同胞も亦同樣である、同じく支那人の爲めに經濟的壓迫を被りつゝあるのである、のみならず今後其の壓迫が益加はり行くべきは疑を容れないのである。

唯夫れ滿洲に於ては其關係が直接で、其の結果が餘りに明白である爲め、何人もこれを容易に看取し得るが、其の內地に及ぼす影響に至つては、之が間接に而かも形を變へて現れるので、多くの人は此點に氣附かず、相替らず淺薄なる優越感に、自ら滿足してゐるのである。

◇

內地の邦人が如何にして支那人の爲に壓迫されつゝあるか、又何故に今後更に大に壓迫さるるの懸念があるか、滿洲に於ける在留日本人と支那人との競爭は直接である、人と人との競爭である、目下のところは單に勞働者と勞働者との競爭である、問題は簡單明瞭である、之に反して內地における邦人が支那人の競爭と壓迫を被むるのは、商品を通じてゞある、種々の工場を隔ててゞある、鐵道や船舶を經由してゞある、從つて一目瞭然でないのである。

支那人の賃金は非常に低廉であるから、彼等の產出する商品は、其の生產費が頗る安く附く、而して其の代價も亦大に安く附く、之に反して日本人の勞賃は彼等の夫れに數倍する、其の生產費は無論之に比例して頗る不廉である、勢ひ日本の內地で生產する商品の相場は、支那で製出する競爭品に比して、大に高價ならざるを得ないのである。

いふ迄もなく國際競爭場裡に於て高價なる商品は、低廉なる商品の爲めに驅逐され壓迫される、日本商品が漸次支那商品の爲めに驅逐され、驅逐さるゝに至るは當然ではないか、而して日本商品の壓迫、驅逐は、やがて日本人の壓迫と驅逐と同樣の意味となるのではないか。

◇

現に日本人の製出して、支那に輸出され、從來支那市場を橫行し、殆んど之を獨占しつゝあつた商品で、次第に支那の競爭品の爲めに壓迫され、驅逐されつゝあるものが、少くないのである、例へば綿糸綿布類の如きは、其の最も著しき例證である、中には日本の資本によつて製出せらるゝものも少くないが、結果は矢張り日本人の勞働者が、支那の勞働者の爲めに、其の職を奪はれるといふことに歸着する、又支那の開平炭や山東炭が、上海市場に於て既に日本の筑豐炭を驅逐し了つた如きも其の例である、撫順炭が同地で內地炭を驅逐したのも亦日本の勞働者が支那の勞働者の爲めに職業を奪はれた事を意味す、近つては砂糖も燐寸も雜貨類も漸次支那の市場から驅逐さるゝ時が來るであらう、而して是れは疑ひもなく日本勞働者の驅逐である。

◇

次に來るものは第三國に於ける支那商品との競爭であろ、例へば今日我が商品の最も大切なる得意先を、今後支那の商品の爲めに驅逐され、蹂躙せらるゝに至るべしと懸念さるゝことである、印度や南洋方面に於ける我が輸出品が今後支那の商品によつて取つて代はらるゝに至るの懸念あることである、いふ勿れ是れ吾人の杞憂である、現に從來日本の特產物であると我れ人ともに許し、決して他國の競爭を許さないと思ふてゐた生糸が、其の最も大切なる得意先である米國市場に於て、支那の生糸の爲めに、痛く競爭され、昨年の如きは大に之が爲めに惱まされてゐたではないか。第三期に於ては支那の商品は更に進んで、日本內地の市場にまでも侵入し、內地に於て盛んに跋扈するに至るの懸念ある事是れである、支那が若し國法を以て米穀の輸出を禁じてゐなかつたならば、日本の最も大切なる農業は、今頃は何うなつてゐるであらう、否現に大に其の脅威を感じてゐるではないか。

◇

尙此等の點に就いて、吾人は更に大に論じたいのであるが、現に角山貨が次第に支那商品の爲めに壓迫され、之れが爲めに驅逐さるゝといふことは、即ち……

全滿ファンの血躍る
實滿野球一回戰
忽ち滿俱球場を埋め盡した
大觀衆固唾を呑む

滿洲運動界最大の年中行事として滿洲はもとより日本全國ファン注視の的となつた滿洲の早慶戰たる本社主催大連實業團對大連滿洲俱樂部野球戰の第一日は滿洲晴の十三日中央公園滿俱球場で擧行された、この日朝來の快晴にて風また強からず晴の第一戰をたゝかはすには絕好の天候である今日の日を心して待つた全滿のファンは早くも正午を過ぎる頃より續々として球場に詰めかけ戰前既に立錐の餘地もなく完全に場の四周を埋めつくし遲れたファンは遠く外野の立樹によぢ登つて開戰を待つ、午後二時四十分スタンドからの急霰の拍手に迎へられ胸に赤字でMと染めた滿俱軍は疋田主將を先頭に入場、輕く場を一周して足馴らしを終りウオーミングアップに移つたこの時再度の拍手に迎へられて復讐の意氣に燃えた實業軍は岩瀨主將を先頭に一壘側のベンチにつきこれまた直にウオーミングアップを始め兩軍同時にバッテングを開始した、實滿戰の覇權を目指して月餘の猛練習に自信を強めた兩軍の當りは流石に物凄く、山下木下等は盛んに長打を連發し、一壘側では岩瀨が武井、因藤が藤瀨を三壘側では山口が野田、濱崎が片岡をそれぞれの捕手として熱心にピッチングを始めた、三時四十分兩軍のバッテングを終り引きつゞき滿俱側よりシートノックに移る、

愈よ戰の火蓋切る

豐富に選手を擁した滿俱の內野では各ポジションに二人宛の選手を置いて練習を行ひ水も漏らさぬ備振に自信の程を見せれば實業もまた遊擊の他は二人を置いてそれぞれはち切れるやうな元氣な練習に業側の應援團を喜ばせる、この村岡バンドの奏樂裡に眞紅の優勝旗を持つ滿俱を先頭に兩軍榮の選手はダイヤモンドを一周してホームの兩側に整列し竹內本社主筆の挨拶後觀衆選手等全員總起立すれば莊嚴なる君ケ代の合奏裡に中堅後方の檣頭高く疋田、岩瀨兩軍主將の手によつて日章旗は揭揚された、かくて疋田主將以下滿俱側選手より松山本社々長の手に優勝旗優勝盃の返還あり、こゝに入場式を終つて滿俱軍ポジションに就き田中市長は高須(球)熊谷(壘)の兩審判の先導にてプレートに進み高須球審のプレーボールの聲に純白の處女球は見事に投ぜられて始球式を終了、再び起る急霰の拍手の裡に試合開始のサイレンは鳴り……

10A―8
滿俱軍一勝す
後半猛烈なる打擊戰

經過

△第一回 實業立石一邪飛宮武遊飛後津田二壘右に單打したが二盜成らず▲滿俱濱崎右飛永澤遊匍後山下投手強襲單打したが二盜に死ぬ

△第二回 ……

實・滿戰を觀る
三宅大輔

實力五分々々と
假想して試合を觀る

從來私は滿洲の野球には常の興味を持ちながら、機會を得なかつた爲めに、大連へ來たのは今度が初めてゞある、從つて實滿戰の盛な話には聞いて居たが見るのも今日が初めてゞある。實業及滿の選手諸君の大半は在京時代有な諸君であるから其生立ちから知つて居るが、近況は知らない。上五、六の他の選手諸君は全然知らない。

私は此度大連へ來ることになつて「實滿戰は何れが勝つか」を豫想することは極めて危險であり且つ選手諸君へ對して失禮だと思つたので「實力は五分々々」であるといふ假定の下に今日試合を見に行つた。

固くなつた
兩軍選手
打擊上の損失

試合が始まると同時に一番私の感じたことは兩軍の選手諸君がチクくに固くなつて居る點であ……

實業の投手交代
機會を失した憾み

永澤君の功勞
實業軍の不運

大亂戰に伴つて
頭腦的なエラー

試合エキサイトと審判

實突後半の攻擊力

全くの打擊戰
仲よく追ひ戰ひは正に伯仲

沿線でも
電氣展
三ヶ所の會期

巡查採用試驗

通譯筆記試驗

本日厲報を添ふ

市況 (十三日)

株式 / 後場 / 內地變らず 當市閑散

特產 / 大豆續騰 / 買氣ありて

錢鈔

商品 / 綿糸保合 / 麻袋鬆る / 各地特產發送高

實地市況

市場電報 / 神戶特產 / 大阪綿糸 / 東京株式 / 京株式 / 大阪株式 / 大阪期米 / 東京期米 / 神戶期米

家庭

滿洲が生んだ女流運動家（1）

スポーツマンライフを飾る最後の猛練習

砲丸投げ選手　坂田政代さん

左足膝蓋骨中央より右下にむけかなりなひゞが入つたらしい、隨分ひどい鬱血だ化膿の怖れも濃厚だ……さうかうした怖ろしい疑ひも……さうです、醫師の診斷ぢやないのですが我が砲丸投げのチャンピオン…大連彌生高女の坂田政代さんが足に此六月に入つて受けた怪我なんです、このとは學校さお家は勿論

彼女を 知る人々を驚かせたことでせう、でも幸ひなるかな政代さんは赤ちゃんの折一度お薬子か何かの食傷で苦い薬をのんだきり薬の効果を知らない丈夫な方今度の怪我も簡單な手當で間もなく全治してしまつたのです、もう一つ政代さんは何かの間違ひで腸を傷めました、これは醫師の盲腸炎ださの診斷もあり、本人もそのつもりの劇痛に三日間輾々反側の苦痛を經驗した次第でしたが四日目にはなんさ元氣な政代さんに立ちかへつたことでせう、こんな譯子でお母樣はマアチャン（政代さんの家庭での愛稱）を育てるには何の苦心も特別な

注意も せず「御覽の通りの體格になつた」譯ですさ仰有るのです、數字的に政代さんの立派な體格を一寸お目にかけますれば（今春四月の査定）大正三年四月出生身長一六〇、四センチメートル、體重八三キロ、肺活量三三〇〇、握力右四五、左四三（砲丸投選手さして重要且つ特異な指數）です、同級の他の人達は三七が平均さなつてゐるのです、關東廳技手坂田機五郎さんが政代さんのお父樣で小崗子警察署にお勤めです、政代さん

搖籃の 地は公主嶺で即ち完全に我政代さんは滿洲の生んだ選手であるのです家庭での政代さんは六人弟妹の長姉さして朝は自分の登校用意さ幼い三人の方達の世話で轉手古舞の忙しさよく行屆いた親切なお姉樣であります、シーズンにもなりますれば大連運動場で、校庭で殆ご毎日熱心な稽古です、冬は冬でバスケットのメムバーですからやはり從つて歸宅するのは五時過ぎでさぞ疲れるこさださ思ふのですが本人は一向平氣で「馴れてゐる故かどんな運動後でも

疲れた さ意識することさなんかありませんのよ」さ素晴しい健康さだ政代さんの輝ける記錄は
▲砲丸投＝八ポンド一〇・四五メートル（昭和五年十月五日全滿選手權大會に獲得）同四キロ八九七メートル（昭和五年十月二十五＝全日本選手權大會第一日に獲得）
▲三段飛＝全日本選手權大會第二日目に無聊なるまゝに練習もせず始めて飛入的に決行して果然九・八五メートルの成績で二等に入賞したのでした

技能を 政代さんも御兩親樣もこの天禀の技能をより以上伸展すべきか、中止すべきかのジレンマに苦んでゐられます、近ごろ家政について非常に熱心な研究をお始めの樣子ですが何かの心的推移を察することが出來る樣に思はれるのです、今年は華やかなスポーツマンライフの最後を飾るべく世界記錄を目ざして猛練習をしてゐます

雨期が近づくと天候は亂れがち

滿洲の梅雨までにはまだ一ケ月はある

◇…四五日冷えびえした天氣がつゞきましたが、先月から今月五六日までは殆ご平年より毎日三四度位暑く、六日以後は反對に例年より三四度の低温を示して居りました。雨は先月の十五日以來殆ご雨さいふほどのものも見ませんでしたが去る九日から十日にかけて三十二粍（坪當り五斗九升）さいふ夥だしい雨が降りました。

◆…これは本年に入つてからの雨らしい雨の最初のもので、冬の間のきたない塵埃や油煙はこれですつかり綺麗に洗ひ去られて全く甦つた氣がします、これは單に人間にさつてばかりでなく草や木に對しても本當に慈雨でありましたこれは九日の晩黄河流域に七百五十粍の低氣壓が現はれ徐々に進路を北東に取つて十日正午には直隷海峽に進み、又北朝鮮にも他の低氣壓が滯在してゐたから遼東半島附近一帶に雷雨を催したのであります。

◆…この低氣壓は十一日朝北鮮、シベリヤ東部に去り天氣は全く恢復致しましたが内地方面では沖繩附近に七百四十八粍の低氣壓が横たはつてゐたが漸く北東に進行して鹿兒島縣下大島附近に、十二日朝には四國沖合に達して隨分發達をさげ、その中心は七百四十粍に下りまして關東、新潟以西一帶に可なりひごい雨や風を起して荒れまはりました。内地はこれで段々雨期に入りますが、滿洲は毎年の例によりますさ雨期迄には未だ一ケ月位あるやうです。

◆…大體七月十日前後から八月の半過ぎまで約四十日間位が雨期で、このうち二十二三日位は雨がふりませう、尤も年によつて多少の狂ひは免れませんが、一年の平均雨量約六百粍（坪當り約十二石）のうち殆ごその半量の二百粍乃至三百粍がこの七八月の雨期に降るのであります、この雨期が過ぎていよいよ涼夏の候に入るわけで、今のさころあまり天氣は惡くありませんが、雨期に向つて段々天候がみだれ勝ちになるでせう（關東廳觀測所技手吉田寛一氏談）

比島土人の崇敬の的

寫眞はフイリッピン民族のうちで若き女僧さして土人達の崇敬を集めてゐる孃さんです、體に卷きつけてゐる大蛇は同じく神聖な神の使さして土人等はこれにひざまづき禮拜するのださうです

滿日婦人團

內制と團員約束事項

滿日婦人團は既報の通り去る十一日午前十時から本社講堂で各役員並に百七十五名の團員列席の裡に厳やかに結團式を擧げましたが、當日事故のため缺席した八十餘名の團員の爲に、當日出席者全部に布し承認を受けました滿日婦人團內制、同婦人團員の約束事項並びに第一回の役員氏名を發表します

滿日婦人團內制

第一條　本團は滿日婦人團さ稱す

第二條　本團は文化施設の見學其の他婦人に必要なる事項の實習又は講演會等を催し保健さ在滿婦人の知識の向上を圖るを以て目的さす

第三條　本團の事務所を滿洲日報社內に置く

第四條　本團に左の役員を設く（任期は一箇年さす）

顧問	若干名
團長	一名
幹事	五名
理事	五名

第五條　幹事は團員の互選に因り決定す

第六條　幹事中より當番幹事を互選に因り決定す

第七條　團長及理事は滿洲日報社より任命す

第八條　顧問は幹部會に於て推薦す

第九條　當番幹事事故あるさきは他の幹事これを代理す

第十條　理事は本團の事務に從事す

第十一條　本團に關する目的を達成せんため幹部會を設く

第十二條　幹部會は顧問、團長、幹事及理事を以て組織す

第十三條　團長は必要に應じ幹部會を招集するものさす

第十四條本團に關する必要なる制度は幹部會に因り決定するものさす

團員の約束事項

一、本團は我在滿女性の知識さ健康の健全なる發達向上を目的さし、團員は特に質素堅實を旨さすることさ

一、本團の催しに際しては特別の事情なき限り出席することゝ、若し缺席の場合はその都度口頭或はその他の方法で通知することさ（電六三四八番）

一、時間は特に勵行のことさ

一、無斷缺席數回に及ぶ時は幹部會の決議により除名することさ

一、本團の名譽を恥めたる場合は幹部會の決議により除名する事

一、本團員にして「婦人團員」の徽章を紛失の場合は實費支辨のことさ

一、本團員にして退團せんさする場合はその旨屆出さ共に徽章を返却のことさ

役員　顧問未定▲團長松山忠二郎▲幹事田中キヨ子、牧野美子、森本喜美惠、西島貞子、神島香輿子▲理事竹内克巳、佐賀秀雄、小笠原勝、下茂芳夫、安武誠子

日ノ丸號ノユクヘ（八十五）　次朗

二人ノ　アメリカ人ハ　太郎ノタメニ　スクワレテ　フネニノリ　ブジ　アメリカヘ　カヘルコトガ　デキタ

太郎モ　ウナラスカ　デ　オモヒガケナクモ　アメリカノ　キセン　ニ　アヒ　アブラ　ヲモラフコトガ　デキタ　ノダ

「コレデ　イクラデモ　トベルゾ」太郎ハ　イサミタツテ　ヒコウキ　ヲ　トバシ　キタヘキタヘ　ト　ススンダ

初夏の味覺

松茸・櫻桃・野菜　卸賣市場から

フレッシュな初夏氣分を中央卸賣市場から點出してみやう

▼…松茸は秋のものさ思ひつめてゐる人が多いが、春にも香りこそかなりおちるも伊豫、福岡、山口方面から天然ものが入つてくる、そして五月上旬の走りは一貫目八圓五十錢ところを唱へたが、その後だんだん安くなつて最近では五十錢位になつた、ところが料理屋や旅館方面で珍重されるのみで、一般が知らないため、値段が落ち、五十錢にもなるともう入つてこない

▼…鮮かな櫻桃は目下地場で一貫匁一圓七、八十錢で作柄も一般によい、山東物なれば六、七十錢見當、枇杷の走りも長崎から入荷するが、不作に拘らず、値段も安くて十斤二圓五十錢乃至三圓位、あと一週間もすれば桃の走りが現はれやう

▼…野菜では内地物が殆ご止まつて、これから地物が幅をきかす、いま胡瓜一本五厘乃至一錢、豌豆一貫匁六、七十錢、同山東物二十錢乃至二十五錢ぐらゐ、南瓜は内地もので五十錢見當、月末になればトマト、キャベツ、小なすなごが一時に出廻つて食膳を賑はすであらう

新井中島氏作の陶展を觀る

TK生

去る七日から大連三越で新井中島兩氏の陶展が開かれてゐる。小森氏の瀬戸移轉以後、永くこの種の展觀に餓ゑてゐた大連の人たちは初夏のすがすがしいプロフキールをこゝにも見出すことができるであらう。

新井氏の作品は昨年もこゝで展觀されたことがあり、中島氏は陶雅會の初期に活躍したゝで、大連の人たちには何れも親み深い作家である。

いまゝでの、わざと歪められたる畸形的な美に安つぽい逃避的な愉悦をもとめてゐたお茶人級の人でなくとも、あの氣の拔けたビールのやうな、何の生氣も味もない現代の硬質陶器の大氾濫には、もうさつくに誰もが倦怠を感じてゐる筈である。

今の陶界での著るしい一つの新傾向は、言はば古今から萬葉への還元運動のごときものとも見られぬこともないと思ふが、さりとて萬葉的表現を究極の目的としてゐるものでないことは儘であり必ずや昭和の現代を充分に表現すべき新しい陶磁が生るゝであらうことは想像に難くない。從つて、今は過渡期である、李朝の線がそこに伸び、磁州の調律が高唱されてあることも、今は無理からぬことゝして、素直にうなづかしめられるわけである。

この展觀での陶磁は、總じて轆轤の仕事が立派であり、高臺の製作には異常な注意が拂はれてあることをうれしく思つた。新井氏の青花、中島氏の鐵繪、何れも立派である。拔臘の青花、マット釉の青花の茶器具など、夏季には特に親み深いものであらう。

こゝろある人達は、青花の小香盒と、トルコ青の小壺とを見のがさないであらう。青花の香盒は一見李朝の水滴に似て居り、小品ながら笑ましいものであると思つたトルコ青の小壺は、西域風な硝子釉の青瓷で、その黒色の紋樣を拔臘で出してゐるのを面白いと思つた。これは筆で描いたものに比べ、いかにも水墨の感じがよく出てゐて愉快であつた。

土と、轆轤と、繪付けと、釉と、そして火の調子、これだけの操作を履んで生れ出る陶磁である。化粧掛けをなし、釉を掛けることにすらも一々の立派な技術を必要とするわれらの陶磁である。海を越えて來た健かな陶磁に對して、先づ以てわれらはその眼福を謝すべきであると思つた。

滿日各地版

あつさり削られた ボーナス十四萬圓 炭礦の賞與三割減斷行で 豫想される悲喜劇

【撫順】千古にゆるぎなしと自他共に許してゐた滿鐵王國も何時恢復するか底知れぬ不況に祟られ減收亦減收四苦八苦の折も折現內閣の減俸斷行に待つてましたと許り歩調を揃へボーナス天引三割減決行、爲に高級社員の如きは一般官界の減俸以上の打擊、片や下級社員は一律的三割減は生活を

脅威 するものだと相當ブー〳〵言つてゐる向もある、倂し滿鐵創立以來未曾有の受難期に期ボーナス額はどんなものか、例年盆の分が四十五萬圓見當の三割減だから十四五萬圓あつさり削られ傭職員合して三十萬圓を蚊の涙位越しただけ、是を一人で貰ふのなら敢て不足はないが何しろ五六千人で分配するのだから聊かこたへる而も今期からは特賞なく總てが平素の勤勉振を考慮されるのでボーナス袋を明けた後そこに多少の悲喜劇もあり自己認定の夢破れ事實に於ては標準減額三割以上けづられる者もあらう

精勵 是宜しきを得二割減位で濟む者もあるらしい、處でその支給日は社員が十四五日頃月俸社員も十八九日頃までには渡れなく懷に飛込む筈、少いと言つて突返す者もまああるまいが結局お互が財布尻を引緊めてかゝるのでそこに撫順消費經濟界の衰が殘る、滿鐵消費組合は何れかと言ふと日常絕對必需品を扱ふのでその響きは少いが伸縮性商品を賣る一般町側の打擊は豫想外、何しろ撫順邦商は炭礦社員を唯一の顧客としてゐる關係と加ふるに關東廳方面の減俸實施の爲例年盆前のやうな景氣は藥にし度くもなく何處も火の消えたやうな寂しさ、一般商人まで是亦

直接 減俸された如き形、殊にひどいのが料理屋方面次が吳服屋、魚屋、肉屋、菓子屋までに響くからやり切れぬ、比較的好景氣を外面的に見せてゐるのは何事も至極手輕に取引の出來るカフエー乃至簡易性的調節所朝鮮料理屋等、それ等の隅に果敢ない景氣の殘骸を止めてゐるに過ぎない、倂しこの減俸何時まで續くか、この底知れぬ不景氣何時恢復するか、この壓倒的不景氣の盤根錯節を怪刀亂麻を斷つが如き偉人いつの秋にか出現するかと茲もと撫順では官民齊しく青息吐息の有樣である

石炭電力料の値下を陳情 撫順實協評議員會

【撫順】撫順實協評議員會は十二日午後一時二十分より開催田中、大江正副會長外二十名出席、田中協會長議長席に就き八項目に亙つて協議が進められたが內最も重要なる電燈、電力、電話料金及び石炭値下問題次の如し

一、撫順は東洋有數の石炭山元で運賃も入らぬのに地元消費者に供給される値段は奉天と一値だ斯る矛盾は默過出來ぬ、由來撫順は工業的諸條件に惠ぐまれてゐると謂ふもその重要なる燃料が奉天と同一である事は間違だ假りに生產品を出すとしても奉天以上の運賃を要する不便がある、撫順の山元に工業を旺盛ならしむるにはこの矛盾せる撫順に於ける石炭値下斷行を卽時滿鐵販賣課へ請願すべし

一、電燈、電力料金は昨年幾らか下げたが從前期限通りに納めた者には實質上値下げになつてない昨年の値下は料金滯納者への恩惠に過ぎぬ、世は減俸、ボーナス三割減等の爲に撫順一般商家は經濟的破綻の淵に臨んでゐる前年の如き微溫的值下では駄目だ三一年撫順の經濟狀態に適合するやう値下斷行方を炭礦部に請願する事

一、電話料も高い、現在の電話相場はどうか、諸物價はどうか、卽時値下を關東廳に請願する事

以上何れも滿場一致可決それ〴〵積極的に猛運動を開始することゝなつた

一、顧問山下翁中島前協會長を推す事可決二、部門制は內容改善同協會の研究機關として存續する事三、定例評議員會は從前の如く每月六日開催四、會費査定は從來年度始めに行つてゐたが次年度の豫算編成前年度末に行ふこと〻變更、その他附議午後三ト散會

炭礦從業華工 素晴しく向上

【撫順】撫順炭礦從業華工は採炭夫雜役夫たるとを問はず質に於て最近素晴らしく向上した從前は來るもの追はずで出鱈目に入れてゐたが最近採用方針を嚴格にして事卽ち體格檢査、メンタルテスト、指紋等六十點以上でなければ絕對採用せぬ事、次に一旦やめたもの乃至被整理者は絕對採用せぬこと等の方針に基き一路優良華工制完成に邁進した結果に依るもので現在從業華工二萬五千六百名內外である

全滿商議聯合會開催打合せ

【奉天】奉天商議では十二日午後三時から役員會を開催し安東商議の提案による全滿商議聯合會開催につき定款改正上京報告を兼打合せをなす處あつた

奉天商議の定款改正は過日の議員會に於て委員附託となり拓務外務兩省の諒解を願いた上再審議をなすことになつてゐたが今回藤田會頭上京し兩省の意嚮を訊した處關東廳令に望み薄と認められた爲十五日午後一時から議員會を開き再審議することになつた又全滿商議聯合會開催の件も同議員會で協議し奉天商議としての態度を決定する筈である

營業稅賦課で意見を交換

【奉天】城內居住邦商に對し支那側は營業稅を賦課する問題は之が果して如何に展開するか各方面から重視されてゐるが奉天居留民會ではその關係者並に當業者を十二日午後六時金樂に招待深更まで忌憚なき意見の交換をなす處あつたが出席者は民會側を初め左記の諸氏であつた

森領事、入江滿鐵公所長、高橋由太郎、西尾一五郎、上田利一、貴虎猛太郎、森鮮銀支店長、守田福松、西本豐之助、西本繁雄

スポーツ文庫

【奉天】十三、四の兩日擧行の奉天國際運動場開場記念運動會に當り奉天圖書館では八幡町圖書館に於てスポーツ文庫を公開することになつたが期間は十一日から廿五日まで圖書は左記一般的スポーツに關するものであると

野球、庭球、球戯、水泳、漕艇、登山、キャンピング、乘馬、狩獵、武道、角力、弓術、樂園等

彩しい萬引窃盜 車手の餘罪發覺 贓品を陳列して樂しむ

【奉天】青森縣生れ市內橋立町滿鐵獨身社員宿舍給濟祭第四號室止宿奉天檢車區車手乘田安長(二)が去る八日同寮のボーイ部屋から敷布所の洗濯ワイシャツを窃取し何喰はぬ顏で外出せんとする處をボーイに發見され遂に逮捕された事は既報の通りであるがその後奉天署に於て取調べの結果大阪屋號だけでも數十回の萬引を働きその他寫眞機、フィルム、印譜紙、電球、ショール、ワイシャツ、靴下、電氣煙草火付、反物、菓子器、フエルトの草履、インクスタンド、萬年筆、ネクタイ等枚擧に遑なき程驚くべき窃盜を働いてゐた事を自白するに至つたので十二日意見書類と共に身柄を總領事館へ送つた尙彼は右贓品を自室に陳列し樂しみ又は之を勝手に使用してゐたと

萬寶山事件は成行を觀望

【奉天】萬寶山事件の取調べ旁々田代領事と打合せのため長春に出張中であつた柳井奉天領事は十一日夜歸奉し林總領事にその詳細報告をなす處あつたが奉天總領事館では暫時その成行を觀望することになつたと

あさがほ急航 英艦の見舞に

【旅順】威海衞沖に於て支那商船飯太號と衝突沈沒せる英國潛水艦ポーセイドン號の遭難に對し青島に碇泊中の我第二遣外艦隊司令官津田靜枝氏は既報の如く威海衞に在る英國東洋艦隊司令官に對し在青島英國領事を通じ見舞の挨拶と同時に何時にても救出に援助する旨申込んだが之に基づき旅順碇泊第十六驅逐隊アサガオは司令官小林中佐乘組威海衞に急航、英國艦隊側責任將校に對し右同樣の見舞及援助方申込むことゝなり同驅逐艦は十二日午後三時旅順を出港した、尙潛水艦沈沒の場所は威海衞の北方約二十五浬の沖合であると

諸名士を集めて けふ遠乘會 黃金臺で種々の餘興

【旅順】旅順偕行社催の遠乘會は十四日決行の筈で當日參加者は菱刈軍司令官を初めとして厚東要塞司令官、三宅參謀長、渡邊旅順重砲隊長其他在旅軍部有志森本關東廳警務課長、井上同技師、酒井師部、吉川公學堂長外一般有志都合四十七名に及び午前八時一同は後樂園裏手路上に集合菱刈大將の乘馬常歩(或は長山)を先頭に四十七騎三班に分れて同所を出發、桃園橋より刑務所橫、十年町東鷄冠山東南方四叉路、龍眠を經て黃金臺海水浴場へと四里强を乘破し更に黃金臺では餘興として二騎競爭、乘馬リレー、眷乘、旗取、馬上パン喰競爭等の諸競技を行ひ午後三時頃解散の豫定である

滿場一致で紀藤氏推薦 鐵嶺商議會頭

【鐵嶺】權太親吉氏死去により鐵嶺商議會頭は缺員となりこれが後任者決定の爲め十二日午後四時より商議樓上に議員會を開催、協議の結果投票選擧を避け推薦と紀藤義也氏を推すに滿場一致したが紀藤氏は十一日夜赴連して缺席せる爲め歸鐵を待つて受諾を交渉する筈である、併し紀藤氏は居留民會長の名譽職に在る爲め兼任は困難なるべく會頭を受諾すれば民會長を辭すこととなり隨つて民會長の補缺選擧を行ふこととならう

優秀豚の大揃ひ 鐵嶺で第三回審査會 一等は二匹とも鐵嶺

【鐵嶺】鐵嶺畜產組合主催の第三回養豚審査會は去る十日より三日間に亘つて陳列館構內を會場として催ふされ出品豚は鐵嶺が最も多く四十二頭に達し四平街十二頭、開原二頭、合計五十六頭であつた公主嶺高松農學士が審査長となり二日間に亘る審査の結果

◆一等 鐵嶺丁廣發飼養の四回雜種牝、同梁景芳飼養、三回雜種牝が入賞し

◆二等 鐵嶺王樹生、王鳳山、王子臻、董德興、同興永、樹文廷、馬運財、平頂堡の川崎丈作氏飼養の豚が入賞し

以下三等十八頭、四等二十八頭入賞と決定、十二日午前十時より表彰式を擧行し藤寄會長の挨拶に次で高松審査長の審査報告あり滿鐵農務課長松島鑑氏代理實吉技師の祝辭、小野地方委員議長、山田農業組合長、命縣長代理林秘書の祝辭、賞品の授與式あり日支官民多數列席盛大な擧式であつた、式後祝賀宴を開き美妓の酒間斡旋に一時過ぎ散會した

國際運動場開きに贈られたトロフィ

【奉天】奉天國際運動場開場記念大運動會は十三日から愈々開始されたがこの大會に各方面から贈られたトロフィ、刀楯等を競技別にすれば左の如し

關東長官杯(蹴球)滿鐵總裁杯(排球)張學良杯(百米)張作相楯(四百米)臧式毅楯(走高跳)金維紋杯(砲丸投)馮庸大學杯(棒高跳)林總領事杯(野球)大森會長杯(中學八百米)稻葉學長杯(小學四百リレー)同(女子排球)奉天協杯(女子四百リレー)大阪朝日楯(千米メドレー)大阪每日杯(槍投)日本電報杯(千五百米)新聞聯合杯(走巾跳)奉天每日杯(女子百米)京城時報杯(中學千五百米)大連新聞杯(圓盤投)寫眞は(前)向つて右より張學良杯大森會長杯、稻葉學長杯、林總領事杯、日本商報杯、大阪每日杯、大阪朝日楯(並にメダル)(中)向つて右より稻葉學長杯、總義杯大連新聞杯、臧式毅楯、(後)向つて右より金維紋楯(教育廳長)張作相楯(吉林省主事)前に橫はれるは本社々長優勝刀

撫順炭坑秘話(52) 窓に映る大きな顏

平佐二郎

狡猾、獰猛を先天的の特性とする獨太の血に燃へるルビーノフ中佐です、斷じて此の豪放磊落のペソブラーゾフの策略には乘ぜられません。ルビーノフは急いで手提鞄に一枚の技師長の株劵をしまひ込んで溫泉ホテルを飛び出しました。

其の翌朝ルビーノフ中佐はペソブラーゾフが云つた最後の言葉を汽車の中で思ひ出しました。そして、ルビーノフ中佐は何の氣なしに眞白な雪に覆はれてゐる高い高い二萬五千尺もあるコーカサツの連峰を汽車の窓から眺めました。不思議なことには

「オイ、ルビーノフ君、君の金山の技師長の一生のパン代にする、其の撫順炭坑の一株も此處で一層のこと僕の手に渡して行き給へ」其の一枚が何十萬留になるか解らんぞ……」

ペソブラーゾフの靜かな、落ち着いた聲が誰もゐない急行列車の一等室に響き渡ります。ふと汽車の窓を見ると二萬五千尺の白雪皚々たるコーカサツの連峰は何時の間にか春霞につゝまれてしまつて何も見えません。美しい山のかはりに汽車の窓には眼の大きな、鼻の高いペソブラーゾフの鬚だらけな大きな顏がハッキリ見えます。

「オイ、ルビーノフ君、君の金山の技師長の一生のパン代にする、其の撫順炭坑の一株も、此處で一層のこと僕の手に渡して行き給へ、その一枚が何十萬留になるか解らんぞ」

不思議なペソブラーゾフの聲そのまゝの人聲に驚いたルビーノフ中佐はアット一聲叫んでデッキの上に打ち倒れました。若し切符調べの爲めに次の食堂車から折好く一等室に車掌が這入つて來て老中佐を抱起して介抱しなかつたならば、ルビーノフ中佐は其のまゝマロ・ロシースク行の急行列車の中で死んでしまつて居たかも知れません。

ペテログラードに歸つたルビーノフは直にサモイロフ老中將の家を訪問し、不結果に終つたコーカサツ行の話を詳しく軍隊式に報告しました。

サモイロフ中將は日本大使館の田野書記官が撫順炭坑に關する一切の書類の寫しを以て倫敦に急行し、前外務大臣の小村伯爵と秘密の相談を進めてゐるから、必ずペソブラーゾフの大陰謀は美事に覆へされるだらうと云つてルビーノフ中佐を慰めました。

然しながらサモイロフ中將から慰められて收まるやうな溫順な此の頃のルビーノフ中佐ではありませんでした。ペソブラーゾフからロシヤ宮中の秘密の一幕を洩れ聞いたルビーノフ中佐はどうしても宮內大臣に面會し、已むを得ざればニコライ二世陛下に直訴しても撫順炭坑に對する二割の自分の權利を要求するといふ頑固一點張りの決心を一歩も曲げませんでした。

サモイロフ中將も、流石に此の田舍の退役士官の頑迷不靈に手を燒きましたが、致し方なしに宮內大臣フデレリック男爵宛の紹介狀を書いてルビーノフ中佐に渡しました。

露國宮內大臣のフレデリック男爵はルビーノフ中佐が机の上に擴げた皇太后陛下御專用の用箋にペソブラーゾフの手で書かれた書類を見て吃驚しました。それから撫順炭坑をアメリカ人に賣り渡してもよいと云ふ外務大臣自署の許可の汚い支那文の株劵……。

フレデリック男爵は今更のやうに宮內大臣の自分を差し措き出し拔いて露國の宮中を橫行濶歩するペソブラーゾフ夫妻の奧底の知れない絕大なる潛勢力に長嘆を禁ずることが可能ませんでした。

沿線往來

▲大岩本溪湖々方事務所長 十一日大連へ

▲辛遼陽縣長 十一日奉天へ

▲高岡商・會議所員 一行七名十二日湯崗子へ

▲陳四洮鐵路副局長 十一日夜奉天へ

▲福井市立商業生 一行六十五名十二日安東より奉天へ

▲安東高女生百一名 十二日公主嶺より過奉安東へ

▲日本足袋鮮滿視察團一行卅四名十二日迎奉大連へ

▲峰憲兵司令官 滿洲各地巡視の途次十二日第一二急行列車にて開原通過南行

▲林四平街憲兵分隊長は十二日第一二急行列車にて開原へ開原分隊を檢閱

▲國安前開原憲兵分遣隊長 十二日午前五時三十五分發列車にて開原發家族同伴郷里德島へ向け出發

▲石原弓弦師範は二十四日第二一列車にて開原へ小憩の後一般會員に指導を爲し一泊翌二十五日第二一列車にて四平街に向け出發の豫定

憂國の辯に市民の氣勢揚る

最早や隱忍の時にあらずと 大石橋市民大會決議

【大石橋】既報の通り時局問題に關する大石橋市民大會は十一日午後七時より公會堂に於て開催された、定刻既に會場の六分を埋め七時二十分には滿員となり猶刻々詰めかけ來る聽衆に會場は恰もすし詰の形となり八時頃に至りては聽衆は溢れて入口に立ち塞がり文字通り立錐の餘地無く大石橋空前の驚異的大盛會であつた

先づ赤倉氏開會の辭を述べ小林氏を座長に推して降壇するや小林氏は不法發砲事件に對する慷慨的な所感を述べて決議文を朗讀し聽衆の熱狂的拍手に送られて降壇し演説會に移つた今村音聞、飛び入りに熱辯を振ふて聽衆の血を湧かせ齒科醫の井上竹四郎氏、雜貨商の美座時省氏、鑛物輸出商の藤井正一氏等交々起つて處女演説に熱辯を振ふて聽衆愈々熱狂せる折柄近藤洋行の山崎繁德氏不法發砲事件に對する我等の要求と題して發砲指揮官以下三名の兵卒を死刑に處すべしと叫ぶや雷の如き拍手は暫しの間場を壓して止まなかつた

かくも白熱的に熱狂化せる折柄またぞろ聽衆の中より黑田潔藏氏演壇に飛び出して怒號するや再び雷の如き拍手は起つた、前田龜吉氏齋藤準一郎兩氏の雄辯に感動せる聽衆は更に青年聯盟本部より應援のため派遣せる高須祐三氏の雄辯全滿日本人自主同盟本部より派遣せる荻原昌彥氏の熱辯に聽衆は全く魅せられたかの感があつた、最後に祖國のため在滿同胞のため起てといふ題下に憂國的な伊藤讓次郎氏の熱辯に聽衆の血を湧かせ山下義明氏の閉會の辭に次いで同氏の發聲にて日本帝國萬歲を三唱し破れるが如き空前の大盛會裡に終りを告げたのは午後十一時二十分であつた、因に當夜の聽衆約六百其内の一割約六十名は夫人であつた事も空前の出來事と云はれてゐる、猶當日青年聯盟本部奉天自主同盟本部地方委員聯合會沿線各地の自主同盟支部其他有志よりの激勵電は机上に山積し朗讀に二十分を要した

▲決議文

日支親善は東亞和平の根本義なり多年に亘りて忍ぶべからざるを忍び支那官民の暴虐に對し吾人は隱忍以て彼等の反省に期待せり然るに彼等の暴戾は愈々加はり今や既得權益は蹂躙され同胞は殘虐に會ふて國威は泥土に歸す走童婦女子に至るまで泣て公憤激昂するに至れり吾人尙は忍ばんと欲するも忍ぶべからず茲に於てか蹶起し一致團結實力を以て斷然國威國權の擁護を期す右決議す

大石橋市民大會

頻發する不祥事件に 青聯支部の對策

實行委員、相談役を決定

【安東】昨今全滿各地に頻發する支那の日本に對する侮辱事件不法壓迫事件、不當課稅問題等に關し對策を講ずべく滿洲青年聯盟安東支部は過般幹事會を開き協議の結果、安東各有力團體代表の參集を求め、外交後援會の如き有力交涉團體を組織し事件の交涉に當ると共に對策を研究する事となり其の協議會を十日午後七時から安東商議會議室に於て開催した、出席者は約四十名、何れも各有力團體代表で駒頭井上支部長の挨拶に次で大津地委議長を座長に推し協議に入るに先だち座長より左の如き報告があつた

安東は勿論全滿に頻發する支那の邦人に加ふる暴戾事件は甚だ遺憾である此の大侮辱に對して何等抗爭の力なく殆んど無力なる我が外交當局に事件の解決を委せばその解決は百年河淸である、吾等は其日々々に稼がねばならぬ左樣な悠長な外交を待つては居られぬ吾等は吾等としての別途に本問題を講究善處せねばならぬ、此の點に就いて自分は奉天に出張した際至急奉天に於て臨時全滿商工會議所聯合會を開催して貰ひたいと申込んだに對し奉天商議も大贊成で目下東上中の藤田會頭が歸奉早々商議に諮り決定するとの事であつた

次で瀨之口副會頭が自席から關稅問題其他茲數年間に勃發した諸問題を擧げて強硬論を吐き續いて鹽見、寺尾、清水の諸氏交々起つて實際問題を擧げて痛論の結果、藤平氏の動議で十名の實行委員をあげ研究、交涉する事となり、委員の銓衡其他は支部長、議長、副會頭に一任する事となり散會した、實行委員並に相談役は十一日に至り左の如く決定發表された

▲實行委員 鹽見圭造、清水[illegible]雄、福田菊次郎、伊藤辰藏、藤平泰一、寺尾[illegible]、石井保吉、永江亮二、金井佐次、近[illegible]松五郎

▲相談役 大津峻、瀨之口藤太郎外一名

アマチュアの滿洲寫生行

高見 成

（四十四）得利寺 龍潭山の古城址

初夏の山嶺を我等の一行は龍潭山の古城址に遊ぶのでした得利寺驛から西北、山の背を横ぎりつゝ行くこと十數町にして眼前に險阻な峻の山＝龍潭山が展開します、山の溪間に今も遺る石壘こそは當城の正門とされてゐます。元來の築城とも云ひ、或は隋代の高勾麗城とも云ひ確證はありませんが、其の規模廣大、石壁は峻の嶺を越え鼓林の谷を渡つて延々二里に及ぶとあります。

輸出免狀の發給問題

關係者協議

【安東】密輸取締令の發布當時新義州稅關は輸出免狀の發給に種々の條件を附し當地輸入商の支障尠からずと爲し當時着任した堂本稅關長に對して輸出免狀に條件を附する理由を訊したるに當時堂本氏は絕對に左樣なことなし、又將來も輸出免狀に對し何等制限或は條件を附することなく關稅法規に從つて處理するものなりと言明したが事實はそれを裏切り依然として輸出免狀發給に際して種々の制限或は條件を附しつゝあるため安東側輸入商の反感甚だしく堂本氏は自らその言明を裏切るものなりとして各方面に於て批難してゐるが正當の輸出申告に對し種々の條件或ひは制限を加へるが如きは帝國の輸出を阻害するのみならず全然法規に違反するものなる以上正當の手續を以て訴願或ひは其の他の方法を以てこれに對抗すべしと關係者の間に協議が進められてゐる

諸口一行來撫

松竹キネマ幹部俳優として映畫界の人氣を集めてゐた諸口十九氏は松竹脫退後愉快劇一座を組織渡滿以來旅大その他で人氣を呼んでゐたが一行卅一名をひつさげ來る十九日來撫廿日、廿一日の兩日新公會堂で開演大向ふをうならすことゝなつた

因に當日出場選手メンバーは各組作戰の都合その他で未提出のもの多きも老虎灘外決定せる顏觸れ次の如し但し當日戰況如何によつては左記の內一二變更するやも知れぬ

（老虎灘）老虎灘、（古城子）古城子、（龍鳳）龍鳳、（庶務）庶務、（東鄕）東鄕、（鐵道）鐵道……

△老虎灘 監督大和惣九郎、選手岩瀨安三郎、岡敬次郎、石田久記、平野直重、渡邊秀吉、今村末彥、伊藤汶三郎、篠崎長作△發電所 監督白石竹市、渡重治吉永國治、三雲直左衛門、峰松兼吉、田中早苗△工事々務所 監督城捷、選手三木勝馬、福島福二、松村音吾、石田知義、平野重哉（補）山口清次郎△機械工場 監督高田國太郎、選手復曉一郎阿滿忠弘、小川國春、森川勝、細野長左衛門（補）西川乙市△經理課消費、採炭聯軍 監督長谷川末男、選手山內清、萩尾作兵、今里小十郎、大槻久信、河野圭義、出畑馨△製油工場、陸田晴一、庄崎兼藏、庄崎多喜作、藤崎政雄、橋口藏八、坂田忠夫、岩崎信一、滿多野三平次△撫順驛 松口二十郎、江崎佐藏、福田勝、原田七郎、杉[illegible]重政、石井忠次

恒例の夜店

安東輸入組合は去る六日午後三時より組合事務所に於て夜店委員を招集し恒例に依る夜店開催の件を協議した結果左の通り決定した

一、期間 自六月二十六日至八月末日

一、時間 毎夜自午後七時至同十時

一、場所 市場通三丁目より七丁目迄

一、加盟料 期間の長短を問はず一間に付一圓（他に加盟店實費十錢）

一、電燈 現在の街燈を使用

一、繁榮策 イ、廣告街燈、意匠裝飾競技會を開催する事、ロ、店頭競技を開催の事、ハ、中元大賣出し開催の事

撫順

愈よ土俵開き

愈々迫る十七日撫順神社々頭觀衆五千人を容れ得る全滿一の常設土俵開きのオール撫順相撲大會は全撫十六チームのすぐりにすぐつた精銳に依つて壯烈無比の男性的快試合が次から次へと展開されるその打合會は十二日午後一時より各チーム代表者中央事務所に參集協議の結果豫備戰四回に分けて行ひ勝殘りたる八チームにより準優勝戰然る後最後に勝殘りたる二チームに依り英場闘嘩を呑むなか當日最後の覇を爭ふ事と決定その他附議二時半散會豫備戰取組次の如し

一回戰	二回戰	三回戰	四回戰
運輸（運輸）	運輸（庶務）	工事（鐵道）	運輸（龍鳳）
製油（製油）	製油（鐵道）	工事（製油）	庶務（製油）
發電所（發電所）	撫柏（工事）	大山（撫柏）	工事（發電所）
經理（經理）	市中（大山）	撫柏（經理）	撫柏（工事）
守備隊（守備隊）	機械（市中）	大山（守備隊）	守備隊（撫柏）

金州

上水の殺菌

金州民政署では今回鹽素滅菌機を購入、東門外水源地に据付工事中であつたがこの程竣成十二日から上水の殺菌を開始した、これで今後は絕對に安心して飮料の用に供せらるゝ譯である

關東廳遠征

關東廳文書課及國勢調査課員三十四名は金州見學の爲め十三日來金同日城內警察道場に於て民政署と劍道試合を行ひ十四日は新市街に於て同じく民政署軍と庭球、野球の試合を爲し同日歸還の筈

新郎新婦

金州民政署水道係主任大和田勝太郎氏令息芳保氏は今回大連民政署水道課長小島文爾氏夫妻の媒酌に依り福岡池田隆二氏令妹さり子孃と婚約整ひ來る十六日大連大聖寺に於て佛前結婚式を擧げ同夜午後六時より聖部通繁華樓に友人知己多數を招き盛大な披露宴を催すと

開原

邦樂の夕べ

開原和風會及び長唄玉糸會主催の三曲演奏會は十四日午後七時より開原公會堂に於て開演

弓道部の遠征

全開原庭球部にては既報の通り十四日鐵嶺に遠征するが全開原弓道部にても過般鐵嶺よりの挑戰により交涉中の處愈々十四日同地へ遠征する事となつた

安東

全安東庭球戰

陽光は燦として照り輝く初夏の日……輕快なるユニホームを身に纏ひ愛用のラケットを握りしめたテニスマンはネットを隔て、縱横に馳驅し白球を打ち交へて練習に餘念がない……安東庭球界も滿鐵俱所カップ爭奪戰、全安東B組優入選れた手權大會と次から次と賑やかになつてくる、此の時に當つて實業庭球協會、滿鐵庭球部合同主催の下に來る十四日の日曜日を期して山下町滿鐵コートにて岡田總領事カップ爭奪全安東春季庭球トーナメント大會が擧行される事となり各所屬チームでは今年こそは榮あるカップを獲得せんと夕陽の西に沒する迄練習を重ねてゐる事とて當日は定めし大盛況を呈するであらう

貔子窩

神社の春祭り

貔子窩神社春祭は九日午後八時より宵祭を執行したが氣遣はれた二三日來の天候は九時頃より雷鳴と共に降り出し各戶の献燈も消え寂しい祭であつた翌十日の本祭は昨夜の雨もからりと晴れたので警察組民政組學郵組市民組等の各餘興組は勤務の餘暇に稽古した隱し藝で觀衆をアッと云はせんと意氣込んだが又もや天候は險惡となり遂に午前十時頃より降り出し折角待たれた餘興も公學堂講堂內で催された午後二時半より各組の手踊劇その他何れも近來にない出來榮えで觀衆を喜ばせ午後七時盛會裡に終つた

大石橋

養鷄組合創立

當地方事務所社會事業部に於ては今回養鷄組合を創立することゝなり其總會を六月十五日午後七時滿鐵社員俱樂部に於て組合定款作成其他を協議することゝなつた

鐵嶺

警察署の道場

鐵嶺警察署多年の懸案となつてゐた武道場も既報の如く工費一萬圓を以て新築の認可あり十二日午後二時より新築豫定地たる本署裏庭の廣場に於て莊嚴なる地鎭祭を執行した

今日の案內（十四日）

◇滿開對抗庭球大會 全開原庭球軍の遠征あり午前十一時より松島町コートに於て本年始めての對外庭球大會を催す

◇鐵開對抗弓道大會 全開原軍弓道部選手を迎へ正午より滿鐵クラブ射場において競射大會を催す

◇二曜會例會 午後一時より良久に於て開催

鞍山

乘馬會發會式

鞍山競馬會の決算を兼れ十四日午後四時より鐵西有信飯店に於て鞍山乘馬會の發會式を擧行した

プール開き

鞍山體育協會水泳部の室町プール開場式は十四日擧行の筈であつたが都合により來る十八日に變更された

赤玉ポートワイン二本で
自轉車一台!!
自轉車おいやならダイヤ入白金指環
十八金側腕時計
どれかお好みの物進上
赤玉ポートワイン愛用家へ
特製自轉車五千台其他提供
特製大人用
自轉車 一台づゝ 五千口
もし自轉車がおいやなら上記の通り
タイヤ入白金指環
十八金側腕時計
の内どれか御希望の一品を進呈致します
方法は
赤玉ポートワインの包紙のレッテルを角に切抜いて二枚 各其裏面に住所氏名をハッキリ書き二枚を一纏めにして 赤玉お買上店または左記へお送りあれ(開封二錢切手貼付)抽籤の上右景品の内お望みの一品を贈呈す(一枚づゝ別々では無効です必ず二枚一緒に御送附のこと)
この催しの記念を兼ね齒磨スモカ品質宣傳のため當籤洩れの方全部へ送呈
齒磨スモカ 一罐づゝ
募集總數 百二十五萬口 (レッテル二枚一口)
期間 昭和六年五月五日より 同年八月末日まで
抽籤方法 一口(赤玉ポートワイン包紙のレッテル二枚)毎に抽籤番號を附け 五百口一組 當籤番號共通 新聞警察代理店立會 嚴正抽籤
當籤發表 本年九月下旬全國新聞紙上
景品送付 抽籤後二ケ月以內
レッテル送り先 大阪市東區住吉町五二 赤玉ポートワイン本舖
赤玉ポートワイン本舖
からくじ無しの大景品
AKADAMA PORT WINE

虹と兜虫 (152)

龍膽寺雄作　一木弴畫

蟹仙窟（三）

花が散つて新緑から青葉へと移り變る自然の推移は、何かしら慌たゞしいものです。兜島の花見の宴の樂しかつた記憶が、まだ港街の人々の頭にも昨日の様に思ひ出されるのに、虹見岬も兜島も燃えるやうな新緑に包まれて、やがて鬱蒼たる深緑へと落ちついて行くんでした。

「お爺さん」

苦太郎は或日袖口などに胎垢のちよいちよい光る古びた紺飛白の袷を、無雑作に蟹仙窟の巨大な楠の根方に脱ぎ捨てゝ、色の白い女の子の様な素肌に汗をにぢませながら、養父の蟹八足老人に當惑さうに言ふんでした。

「おいらもうこの着物着ないよ」

「なぜぢや？」

老人は爐端にあぐらをかいて、――莨の煙と一緒に言ふんです。

「たしぬけに裸になつたりして…なぜふいにそんなことを言ひ出したんぢや」

「だつて、だれだつてもう袷など着てるものはないつて、さうみんな言つてらア、おいら笑はれるもん……」

「誰が笑ふんぢや？……お爺さんもこれ、袷を着とるぢやないか」

「お爺さんだつて笑はれらア」

「わしはひとに笑はれるなんぞ屁とも思はん。ひとはひと、わしはわしぢや……なにもひとに買つて着さるぢやなし……」

「買つて着てるんぢやないか！おいらのこの袷は兜のお古を甫に縫ひ直して貰つたんだし、お爺さんのその着物だつて、木島さんのお古を貰つたんぢやないか！」

「そ、そりア」

森の仙人はいさゝかテレて、鼻の頭をこすり乍ら。

「何も、くれ言ふてれだつて貰つたわけでもなし、勝手に着てくれ言ふて向ふでくれたもんぢやでかうして着さるだけぢや。なにも着物を一枚二枚貰ふたいふて、ペコペコ頭をさげんでもいゝのぢや威張つて着され……」

「だつて……」

苦太郎は地べたに脱ぎ棄てた着物をもう一度眺めて。

「威張つて着たつて、やつぱり笑はれるものは笑はれらア……おいら、セルがほしいなア」

「ナマいき言ふな」

老人はつひ笑ふんです。

「また天狗様の猫の奴にでも智慧を入れられたんぢやろ」

「違ふ！」

苦太郎はキッパリと頸を振つて

「白鳥のお嬢さんがさう言ふた！」

さう言つて、ふと苦太郎は、何かなし眼の廻りを赧らめるんでした。つひ昨夜です。暫くぶりで鳥へモオタアボオトを驅つてやつて來た珊瑚と、木蘭閣の新畫廊の建築場のところでヒョッコリ出遭つて、一緒に谷の清水へ水を呑みに降りたんです。丈ほどものびたわらびの藪の鮮緑の底で、いきなり苦太郎の頸へ手を捲いた珊瑚が、相手の唇にぢつと光る眼をつけて

「あたしのキスほしかない？」

さう言つて、紅の濃い唇を尖らせてみせたんですが、いきなりその手を離して。

「あんた時折お風呂に這入る？」

さう言つて、ひどく輕蔑的な眼をしてみせたんです。

「なぜさ」

「なぜつて、あんたのそばへ寄ると汗くさいわ……それに着物だつて、いつからその着物着てるの？そんなにもう汚れてボロボロになつて、……今ごろまだ袷を着てる者なんてないわよ。誰だつてもセルだわ」

――彼女のこの言葉が苦太郎の頭に痛くしみてゐるんです。

日本版畫協會の組成（上）

稻葉亨二

日本版畫協會から「日本版畫協會要覽」が届いてから可成りの日子が過ぎ去つた。何だかまだ義務を果さないでゐるやうな氣がしてならない。と云ふのは少くとも版畫藝術に携はる一人としてこの協會の出現を一應は紹介しておかなくてはならないやうな氣がするからだ。

日本版畫協會はこの一月に生れたばかりである。その前には大正七年六月に出來た日本創作版畫協會があつた。又昭和四年十二月に出來た洋風版畫會があつた。其他群小の團體は隨分あつたが是等の團體が爲し來つた仕事並に版畫そのものゝ未熟性は近來著ろしい展開を見せた。それがつまり日本版畫協會をこの一月に生ませた原動力と云へる。即ちこの本邦版畫家の大團體より成る同協會は漸く日本の版畫が國内的な發展から更に飛躍して國際的な展際を見んとしつゝある潮流に乗じて更に之が發展を期せんとするものである。

あれほどすばらしい獨自の版畫を生んだ浮世繪の國、日本の美術學校にまだ版畫科が設けてないと云ふことに於て更に有名になつてゐる現在の日本にこの協會が生れ出たことはまことに祝福すべきことゝ云はなくてはならない。

で、主旨と云ふものを一通り紹介すれば次の通りである。

日本が夙に版畫國として世界に知られたることは今更説くまでもない事實であります。然るに明治に至り洋風文化を移し國運隆盛の瞠目すべき進歩に拘らず版畫は却つて萎微振はざることを遺憾として大正七年日本創作版畫協會が成立するに及び、漸く本邦版畫の甦生を見るに到り、以後歳々隆盛の域に達しつゝありましたが、更に進んで往年の盛名を新にすべき機運を釀成するの必要を感ずるものであります。惟ふに世界の版畫界に於て新らしき日本の占むべき位置は其の永き習練と民族的特性に由來する優秀に依つて、當然高かるべきを信ずるものであります玆を以て今や國際的に本邦版畫を展開することは、國内に於ける版畫の發展と共に、吾々版畫に携はるもの、責務たることを信じ、右の目的に依る版畫家の大同團結を以て協力一致、本邦美術的版畫の向上發達を計ると共にその世界的發揚に向つて努力せんとするものであります。

本協會の爲すべき所は甚だ多々あるべきでありますが、先づ、國際版畫展覽會の開催及び、東京美術學校版畫科新設の促進であります。前者に於ては玆に再説するを要しないと思ひます。後者に就いては、日本が世界に類例なき板目木版の技法を有するに拘らず、現在官立美術學校設置によつて世界に獨特なる美術學校を日本は所有し得るのでありましす。その他一般展覽會に於ける版畫の充實、版畫の社會的普及、新作發表及研究的展覽、後進の誘掖等の實行を以て前述の目的の達成を念ずるものであります。

けふの放送

大連 JQAK

六月十四日

▲午後一時五十分 野球連盟放送（實業對滿俱第二回戰）
▲午後三時三十分 ニュース
▲午後七時、ニュース
▲講話（力の宗教）吉岡愛
▲ラヂオドラマ（かちかち山）滿洲新劇場青年部。爺さん、森田章一。兎、山内敬太郎。狸、堤新一。婆さん、花柳れい子。擬音、土岐清二。放送指揮、篠垣鐵夫
▲三曲（萩の露）三絃、福永大勾當。箏、木村佳子。尺八、森介山
▲中國劇（中牟縣）連東俱樂部々員
▲ラヂオ體操
▲料理献立
▲天氣豫報

東京 JOAK

六月十四日午後六時三十分
▲富本（澤紫色八上船尾の高尾）淨瑠璃富本豊前、同都喜代、三味線同都路、上調子同比路
▲常磐津 松葉浴衣）唄常磐津文字登、同芝立、三味線同芝かま、同芝蝶
▲浪花節（熊野襲驗記）木村久忠
▲ラヂオドラマ（大阪より）大小馬實大上人島木文雄、男の客高岡稔、其の他、女の客武花喚子、其の他、放送指揮坪内士行、効果丹野幸吉